官報　第七千二百六十號　明治四十年九月九日　月曜日　印刷局

○律令

臺灣酒造稅規則明治三十九年法律第三十一號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ發布ス

明治四十年八月三十一日　臺灣總督　子爵佐久間左馬太

律令第六號

臺灣酒造稅規則

第一條　此ノ規則ニ於テ酒類ト稱スルハ臺灣ニ於テ製造シタル酒精及酒精ヲ含有スル飲料中麥酒ヲ除キタルモノヲ謂フ

第二條　酒類ヲ分チテ左ノ三種トス

一　釀造酒　清酒、濁酒、紹興酒ト稱スル類ニシテ醪其ノ他ノ醱酵汁液ヲ濾過シ又ハ濾過セスシテ飲料ト爲スモノ

二　蒸餾酒　燒酎泡盛米酒、蕃薯酒、高粱酒、甘蔗酒、糖蜜酒、離仔酒ト稱スル類ニシテ醪、酒滓、酒清其ノ他ノ醱酵汁液、酒類、酒粕其ノ他ノ物品ヨリ蒸餾シテ飲料ト爲スモノ及酒精

三　再製酒　白酒、味淋、紅酒、糯米酒、茶酒、木瓜酒、青蕉酒、藥酒ト稱スル類ニシテ釀造酒又ハ蒸餾酒ト其ノ他ノ物品ヲ混和シテ碾碎シ又ハ濾過シ若ハ濾過セスシテ飲料ト爲スモノ

第三條　酒類製造者ニハ其ノ石數ニ應シ左ノ割合ヲ以テ造石稅ヲ課ス

第一種　原容量百分中純酒精ノ容量二十二以上ノ二十以下ノ釀造酒　一石ニ付　金六圓

第二種　原容量百分中純酒精ノ容量二十以下ノ蒸餾酒　一石ニ付　金五圓

第三種　原容量百分中純酒精ノ容量三十以下ノ蒸餾酒　一石ニ付原容量百分中純酒精ノ容量一箇毎ニ金二十五錢

第四種　前各種以外ノ酒類　一石ニ付原容量百分中純酒精ノ容量一箇毎ニ金三十錢

第四條　此ノ規則ニ於テ純酒精ト稱スルハ攝氏檢溫器十五度ノ時ニ於テ〇・七九四七ノ比重ヲ有スル酒精ヲ謂フ

第五條　酒類ヲ製造セムトスル者ハ製造場一箇所毎ニ政府ノ免許ヲ受クヘシ其ノ製造ヲ廢止セムトスルトキハ免許ノ取消ヲ求ムヘシ

第六條　相續ニ因リ酒類ノ製造ヲ承繼シタルトキハ其ノ旨ヲ政府ニ屆出ツヘシ

相續ニ因ルノ外酒類ノ製造ヲ承繼セムトスルトキハ政府ノ免許ヲ受クヘシ

第七條　酒類ヲ販賣セムトスル者ハ營業場一箇所毎ニ政府ニ申告スヘシ其ノ販賣ヲ廢止シタルトキ亦同シ

酒類販賣者ニシテ一定ノ營業場ヲ有セサルトキハ販賣者ノ住所ヲ以テ營業場ト看做ス

第八條　一製造場ニ於テ一酒造年度間十二石以上ヲ製造スル者ニ非サレハ酒類製造ノ免許ヲ與ヘス

酒造年度ハ一月ヨリ十二月迄トス

第九條　酒類製造者前條第一項ノ制限石數以上ノ製造ヲ爲ササリシトキハ變災其ノ他止ムヲ得サル事故ニ因ルコトヲ證明スルニ非サレハ制限石數ニ相當スル造石稅ヲ課ス但シ其ノ製造セサリシ石數ニ對シテハ原容量百分中純酒精ノ容量二十以下ノ酒類ヲ其ノ年十二月中ニ査定シタルモノト看做ス

前項ノ場合ニ於テ二種以上ノ酒類ニ係ルトキハ各其ノ製造見込石數ニ比例シテ製造セサリシ酒類別石數ヲ定ム

第十條　造石稅ハ毎月中ノ査定石數ニ依リ翌月中ニ於テ一時ニ之ヲ納ムヘシ但シ製造ヲ廢止シタルトキハ之ヲ即納セシム

第十一條　政府ハ三月以內ノ期限ヲ以テ造石稅ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得

前項ノ徵收猶豫ヲ請ハムトスル者ハ其ノ都度造石稅額ニ相當スル擔保物ヲ提供スヘシ但シ此ノ規則ニ依リ納付スルコトアルヘキ造石稅ヲ擔保スル爲豫メ擔保物ヲ提供スルトキハ其ノ造石稅カ擔保物ノ價格ニ達セサル限リ其ノ都度擔保ヲ提供スルコトヲ要セス

擔保物ニ關スル規程ハ臺灣總督之ヲ定ム

第十二條　前條ニ依リ造石稅ノ徵收ヲ猶豫セラレタル者稅金ヲ納付スヘキ時期ニ於テ納付セサルトキハ擔保物ヲ以テ稅金ニ充ツ但シ金錢以外ノ擔保物ハ之ヲ公賣ニ付シ順次ニ公賣ノ費用及稅金ニ充ツ

前項ノ場合ニ於テ不足アルトキハ之ヲ追徵シ殘金アルトキハ之ヲ還付ス

第十三條　造石稅ヲ納ムヘキ者造石稅ヲ逋脫シ又ハ逋脫セムトスルノ所爲アリト認ムルトキハ政府ハ直ニ造石稅ノ全部又ハ一部ヲ徵收ス此ノ場合ニ於テハ納稅ノ擔保トシテ酒類ヲ差押フルコトヲ得

本文
第72690号

第十四條　同一製造場内ニ於テ酒造原料用ノ爲製造スル酒類ハ製成ノトキ檢定ヲ受ケタルモノニ限リ造石税ヲ課セス

第十五條　酒類ノ造石數ハ製成ノトキ實測シテ之ヲ査定ス但シ前條ノ規定ニ依リ檢定シタル酒類ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條　收税官吏ハ運搬中ニ在ル酒類、酒母、醪、酒滓又ハ酒清ヲ檢査シ其犯則其ノ他ノ事故ニ因リ前項ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ現在ノ酒類若ハ證憑物件ニ就キ造石數ヲ査定ス

第十七條　第十四條ノ規定ニ依リ檢定ヲ受ケタル酒類ニシテ左ノ場合ニ該當スルトキハ其ノ該當スル酒類ノ檢定石數ヲ以テ査定石數ト看做シ造石税ヲ課ス

一　他人ニ讓渡ストキ

二　公賣セラルルトキ

三　飲料ニ供シ又ハ酒類製造用外ニ消費スルトキ

第十八條　酒類製造者ノ製造ニ係ル酒母、醪、酒滓又ハ酒清ニシテ前條各號ノ場合ニ該當スルトキハ醸造酒ヲ製造シタルモノト看做シ其ノ石數ヲ査定シ造石税ヲ課ス

第十九條　左ノ酒類ハ其ノ造石税ヲ免除スルコトヲ得但シ製造場外ニ移出シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　災害ニ罹リ酒類ノ廢棄ニ屬シタルモノ

二　腐敗シタル酒類ニシテ政府ノ承認ヲ得飲用スヘカラサル處置ヲ施シタルモノ

三　腐敗シタル酒類又ハ災害ニ罹リ飲用スヘカラサルニ至リタル酒類ニシテ蒸餾酒ノ製造ニ供スルモノ

四　容器ノ損傷又ハ塞栓ノ自然ノ脫去ニ依リ酒類ノ亡失シタルモノ

第二十條　酒類製造者ハ造石數査定前ニ於テ其ノ酒類ヲ他人ニ讓渡シ、質入シ、酒類製造用外ニ消費シ又ハ政府ノ承認ヲ受ケスシテ製造場外ニ移出スルコトヲ得ス其ノ製造シタル酒母、醪、酒滓及酒清ニ付亦同シ

第二十一條　酒類製造者ニ非スシテ酒母、醪、酒滓又ハ酒清ヲ製造セムトスル者ハ政府ノ免許ヲ受クヘシ

第六條ノ規定ハ酒母、醪、酒滓又ハ酒清製造ノ承繼ニ之ヲ準用ス

第二十二條　前條ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケタル者ノ製造シタル酒母、醪、酒滓又ハ酒清ハ之ヲ他人ニ讓渡シ、質入シ、飲料トシテ消費シ又ハ政府ノ承認ヲ受ケスシテ製造場外ニ移出スルコトヲ得ス

第二十三條　酒類製造者又ハ販賣者ハ其ノ製造、消費又ハ出入ニ關シ詳細明瞭ニ帳簿ニ記載スヘシ

第二十四條　收税官吏ハ酒類製造者又ハ販賣者ノ所持ニ係ル酒類、酒母、醪、酒滓若ハ酒清及其ノ製造、消費若ハ出入ニ關スル一切ノ帳簿、書類竝其ノ製造若ハ販賣上必要ナル建築物、材料、器械其ノ他ノ物件ヲ檢査シ又ハ監督上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十五條　收税官吏ハ必要ト認ムルトキハ酒類製造者又ハ販賣者ノ所持ニ係ル酒類ノ見本ヲ徵スルコトヲ得

第二十六條　收税官吏ハ運搬中ニ在ル酒類、酒母、醪、酒滓又ハ酒清ヲ檢査シ其ノ出所又ハ到達先ヲ質問スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ監督上必要ト認ムルトキハ收税官吏ハ其ノ運搬ヲ停止シ又ハ荷物若ハ船車ニ封印ヲ施スコトヲ得

第二十七條　酒甑ヲ製造セムトスル者ハ政府ノ免許ヲ受クヘシ

第六條ノ規定ハ酒甑製造ノ承繼ニ之ヲ準用ス

第二十八條　免許ヲ受ケスシテ酒類ヲ製造シタルモノハ其ノ製造ニ係ル總石數ニ對シ第三條ノ造石税ヲ課シ尙其ノ造石税五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ前項ノ造石税ハ之ヲ即納セシム

第二十九條　第六條、第二十一條、第二十七條ニ依ル屆出又ハ第七條ノ申告ヲ怠リタルモノハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條　酒類製造者詐僞其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ造石數ノ査定ヲ免カレ又ハ免カレムトシタルトキハ其ノ石數ノ造石税五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第三十一條　酒類製造者故意ニ事故ヲ作爲シ又ハ詐術ヲ構ヘ造石税ノ免除ヲ得又ハ得ムトシタルトキハ其ノ石數ノ造石税五倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

第三十二條　第二十條ノ規定ニ違反シタルモノハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條　第二十一條第一項又ハ第二十二條ノ規定ニ違反シタル者ハ釀造酒ヲ製造シタルモノト看做シ其ノ製造ニ係ル總石數ニ對シ第三條ノ造石税ヲ課シ尙其ノ造石税二倍ニ相當スル罰金ニ處ス但シ罰金ハ三十圓ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ造石税ハ之ヲ即納セシム

第三十四條　酒類製造者又ハ販賣者其ノ原料若ハ帳簿、書類ヲ隱匿シタルトキハ五圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條　酒類製造者又ハ販賣者酒類ノ製造、消費若ハ出入ニ關シ帳簿ノ記載又ハ事實ノ申告ヲ詐リ若ハ怠リタルトキハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十六條　酒類製造用ト否トヲ問ハス其ノ製造シタル酒母、醪、酒滓若ハ酒清ノ檢査ヲ免カレ又ハ免カレムトシタル者ハ三十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條　收税官吏ノ質問ニ對シ虛僞ノ陳辯ヲ爲シ、其ノ職務ノ執行ヲ拒ミ之ヲ忌避シ又ハ之ニ支障ヲ加ヘタルモノハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ刑法ニ正條アルモノハ刑法ニ依ル

第三十八條　第二十七條第一項又ハ第三項ノ規定ニ違反シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ尙其ノ酒甑ハ之ヲ沒收ス

第三十九條　此ノ規則又ハ此ノ規則ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルモノニハ刑法ノ減輕、再犯加重及數罪俱發ノ例ヲ用ヰス

第四十條　酒類製造者又ハ販賣者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ此ノ規則又ハ此ノ規則ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ當業者ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十一條　酒類製造者又ハ販賣者ノ代理人戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ此ノ規則又ハ此ノ規則ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ其ノ製造者又ハ販賣者ヲ處罰ス

第四十二條　第二十三條、第二十四條、第三十四條、第三十五條、第四十條及第四十一條ノ規定ハ酒類製造者ニ非スシテ酒母、醪、酒滓又ハ酒清ヲ製造スル者ニ之ヲ準用ス

第四十三條　酒類ノ製造ヲ廢止シタル者及其ノ相續人ニ對シテハ造石税完納前ニ在リテハ總テ此ノ規則ヲ適用ス

第四十四條　此ノ規則ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ臺灣總督之ヲ定ム

附　則

此ノ規則施行ノ期日ハ臺灣總督之ヲ定ム

酒類、酒母、醪、酒滓、酒清又ハ酒甑ヲ製造シ此ノ規則施行後引續キ之ヲ製造セムトスル者ハ此ノ規則施行ノ日ヨリ十五日以内ニ此ノ規則ニ依リ免許ヲ受クヘシ

酒類ヲ販賣シ此ノ規則施行後引續キ之ヲ販賣セムトスル者ハ此ノ規則施行ノ日ヨリ五日以内ニ第七條ノ申告ヲ爲スヘシ

前二項ノ期間内ハ從前ノ製造又ハ販賣ヲ繼續スルコトヲ得

酒類製造者又ハ販賣者ニシテ此ノ規則施行前ヨリ酒類ヲ所持スル者ハ此ノ規則施行ノ日ヨリ三十日以内ニ其ノ酒名及石數ヲ政府ニ申告スヘシ其ノ申告ヲ爲ササルトキハ此ノ規則ニ依リ其ノ酒類ニ造石税ヲ課ス

第八條ノ規定ハ明治四十年ニ限リ之ヲ適用セス

○府令

臺灣總督府令第七十三號

明治四十年八月府令第七十二號臺灣海港檢疫施行規則第十六條ノ費用徵收額ハ當分ノ内實費ヲ斟酌シ基隆海港檢疫所長ヲシテ之ヲ定メシム

明治四十年八月三十日　臺灣總督　子爵佐久間左馬太

官報　第七二六〇號　明治四十年九月九日（第三種郵便物認可）

○告示

内務省告示第九十九號

明治三十六年内務省告示第五十九號爆發物貯庫規程中左ノ通リ改正シ明治四十年九月十五日ヨリ施行ス

明治四十年九月九日　内務大臣　原敬

第一條ニ左ノ一項ヲ加フ

輸入手續濟ノモノニアラスト雖モ特ニ税關ヨリ假庫入ヲ承認セラレタルモノハ之カ貯藏ヲ許可スルコトヲ得

第二條輸入免狀ノ下ニ「又ハ假庫入ヲ承認シタルノ證」ノ十三字ヲ加フ

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

第一條第二項ニ依リ貯藏ノ許可ヲ得タルモノニ在リテハ前二項引取ノ場合ニ於テ税關ヨリ庫出ヲ承認シタルノ證ヲ添付スヘシ

内務省告示第百號

一美人讀文　一種一枚

一はな冷よき　一種一枚

一村井弦齋作飛來太郎　一種一枚

東京市淺草區七軒町　公文堂　發行

以上三種トモ表面ハ題名ノ如キ繪畫ニシテ其裏面ニ紙幣ノ一部ニ紛ハシキ圖畫アリ

右出版物ハ安寧秩序ヲ妨害スルモノト認ムルヲ以テ出版法第十九條ニ依リ明治四十年九月七日發賣頒布禁止及刻版竝印本差押ノ處分ヲ爲シタリ

明治四十年九月九日　内務大臣　原敬

文部省告示第二百三十五號

德島縣麻植郡桑川村ニ設置セル德島縣麻植郡立蠶業學校ノ位置ヲ同縣同郡學島村ニ變更ノ件認可セリ

明治四十年九月九日　文部大臣　牧野伸顯

遞信省告示第五百三十一號

本月十六日ヨリ左記郵便局ノ特設電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十八年四遞信省令第三十四號特設電話規則ニ依リ加入申請書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十年九月九日　遞信大臣　山縣伊三郎

名稱	位置	名稱	位置
牛津郵便局	佐賀縣小城郡牛津町	郡山郵便局	奈良縣生駒郡郡山町
武雄郵便局	佐賀縣杵島郡武雄町	笠松郵便局	岐阜縣羽島郡笠松町
岸和田郵便局	大阪府泉南郡岸和田町	岩國郵便局	山口縣玖珂郡岩國町

第7260号

遞信省告示第五百三十二號

明治三十五年十一月遞信省告示第五百四十八號外國代金引換郵便物交換國名表獨逸保護國獨逸ニューギニア」ノ項取扱局所欄中「ケーウィング」ノ次ニ「キーメ」ヲ加フ

明治四十年九月九日　遞信大臣　山縣伊三郎

遞信省告示第五百三十三號

本月十一日ヨリ左記三等郵便局ヲ設置ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

明治四十年九月九日　遞信大臣　山縣伊三郎

名稱	位置
鹿濃郵便局（カノウ）	富山縣西礪波郡眞幸村大字昌明寺（礪波郡西部）

遞信省告示第五百三十四號

明治三十八年七月遞信省告示第四百二十五號本邦ト外國郵便爲替及電信爲替ヲ交換スル國名等ヲ示ス表「第一郵便爲替」ノ「ニューギニア」獨逸領ノ項「ケーヴィーング（Kaeiieng）」ノ次ニ「キータ（Kieta）」ヲ加フ

明治四十年九月九日　遞信大臣　山縣伊三郎

遞信省告示第五百三十五號

本月十六日ヨリ左記郵便局ノ電話加入申込ヲ受理ス希望者ハ明治三十九年六月遞信省令第二十五號電話規則ニ依リ加入申込書ヲ差出スヘシ但電話交換業務開始ノ日ハ追テ之ヲ告示ス

明治四十年九月九日　遞信大臣　山縣伊三郎

名稱	位置
豐橋郵便局	豐橋市大字札木

遞信省告示第五百三十六號

明治三十九年六月遞信省告示第二百六十四號電話加入登記料、電話加入名義書換料及電話使用料ニ關スル土地ノ種別中丙地米澤ノ次ニ左記箇所ヲ追加ス

明治四十年九月九日　遞信大臣　山縣伊三郎

豐橋

遞信省告示第五百三十七號

明治三十年十二月遞信省告示第三百五十七號電話加入區域中「米澤」ノ次ニ左ノ通追加ス

明治四十年九月九日　遞信大臣　山縣伊三郎

局名	區域
善通寺	豐橋市大字札木、同花園、同木町、同魚町、同濱水、同服部、同曲尺手、同三浦、同新銭、同鍛冶屋、同手間、同吉屋、同魚町、同關屋、同中世古、同細屋、同中柴、同中八、同西八、同船町、同湊町、同新川、同中町、同鮑淵、同魚町、同東新、同西新、同鍛冶、同下町、同瓦町字（除ク）、同東田字下ノ同談合、同東八、同瓦町字（除ク）、同東田字下ノ仁連木、大字上郷島、同松葉、同堂町、同花田字松山、同西宿、同城ケ池津、同石塚、同北新起、同半邑渡、同手崎、同濱川愛知縣渥美郡牟呂吉田村大字亀塚、同牟呂吉田字北島（字荒地ノ次ハ除ク）、同牟呂吉田字中川原、高師村大字福岡字小池、同橋良八名郡下川村大字牛川（字荒地ノ次ハ除ク）、同牟呂吉田字石田、同羽根井、同花中畑、同西羽田、同北羽田、同百度、同羽田中郷、同羽田、同百野字ノ次ハ除ク）

遞信省告示第五百三十八號

本月十日限左記郵便局ヲ廢止ス但シ當該局ニ於テ取扱ヒタル事務ハ下記郵便局之ヲ承繼ス

明治四十年九月九日　遞信大臣　山縣伊三郎

名稱	位置	承繼局名
富士山北郵便局	富士山吉田口及須走口ヨリ八合目	吉田郵便局（中巻）

遞信省告示第五百三十九號

本月十日限左記郵便局ニ於ケル電話通話事務ヲ廢止ス

明治四十年九月九日　遞信大臣　山縣伊三郎

名稱	位置
吉田郵便局	山梨縣南都留郡瑞穂村

遞信省告示第五百四十號

明治三十三年八月遞信省告示第三百十四號電話呼出地域中左ノ通削除ス

明治四十年九月九日　遞信大臣　山縣伊三郎

一甲斐國南都留郡瑞穂村大字上吉田（字大久保上小佐野、字荒田ノ次ハ除ク）、同新倉字新町

遞信省告示第五百四十一號

本月十一日以降歐洲諸國（露西亞ヲ除ク）宛郵便物ハ特ニ西比利亞經由ノ指定アル信書及郵便端書ニ限リ西比利亞經由遞送方取計フ

明治四十年九月九日　遞信大臣　山縣伊三郎

○敘任及辭令

○明治四十年九月六日

敘正三位　從三位勳三等　名村　泰藏

○明治四十年九月七日

陞敘高等官三等　內務技師正六位　前川　貫一

陞敘高等官三等　內務技師正六位　奥村　長作

陞敘高等官四等　傳染病研究所技師從六位醫學博士　宮島幹之助

陞敘高等官四等　傳染病研究所技師從六位勳五等　梅野　信吉

陞敘高等官五等　內務書記官正七位勳六等　土岐　嘉平

陞敘高等官五等　內務書記官正七位勳六等　中川　望

陞敘高等官七等　稅務監督局事務官派臨務局事務官正八位勳六等　宮本政次郎

任第三高等學校教授　第五高等學校教授正七位　厨川　辰夫

敘高等官六等　正六位勳四等　月野正五郎

任帝國鐵道廳技師

敘高等官四等

任關東都督府技師

敘高等官四等　兵庫縣技師正六位勳五等　村田　昇清

任臺灣總督府技師　勞賀銀五郎

敘高等官七等　京都府屬從七位勳八等　香川　靜一

任京都府事務官補

敘高等官七等　京都府屬　中道　貫一

任京都府事務官補

敘高等官七等　石川縣屬正七位勳七等　三好　亘

任石川縣事務官補

敘高等官七等　石川縣屬從六位勳六等　大塚　志良

任石川縣事務官補

敘高等官七等　德島縣屬從七位勳八等　山內　時行

任德島縣事務官補

敘高等官七等　從七位　吉田佐次郎

任德島縣技師

敘高等官七等　新納　靖

任香川縣技師

敘高等官七等

依願免本官

依願免本官並兼官（以上九月七日內閣）

特旨ヲ以テ位一級被進

第三高等學校教授　鵜崎庚午郎（關東都督府參事官兼關東都督府祕書官）

退職判事從三位勳三等　島村　幡彥

故子爵水野忠敬家督相續人　名村　泰藏

襲爵被仰付（以上六月九日宮內省）

二級俸下賜　正五位　水野　忠亮

三級俸下賜　香川　靜一

二級俸下賜　京都府事務官補　中道　貫一

五級俸下賜　石川縣事務官補　三好　亘

四級俸下賜　石川縣事務官補　大塚　志良

（各通）　德島縣事務官補　山內　時行

德島縣技師　吉田佐次郎

香川縣技師　新納　靖

年俸參拾圓下賜（以上七月九日內務省）

三級俸下賜（七月九日大藏省）　稅務監督局事務官　宮本政次郎

北海道雨龍郡秩父別村百八番地　宮武　マサ

故陸軍步兵一等卒宮武佐吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ給フ

兵庫縣玖珠郡玖珠村百八番地　藤弘助次郎

故陸軍騎兵一等卒中島定治明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金百貳拾圓ヲ給フ（以上九月四日陸軍省）

山口縣玖珠郡玖珠村二千六百八十六番地　藤弘助次郎

故陸軍步兵上等兵藤弘健助明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百六拾圓ヲ給フ

故陸軍步兵一等卒栗林達明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ給フ

大阪府泉北郡西陶器村大字辻之百九番屋敷　栗林　ヒロ

靜岡縣志太郡燒津町鰯ケ島三百十八番地　鈴木　わか

故陸軍步兵一等卒鈴木貢吉明治三十七八年戰役ノ功ニ依リ特ニ金貳百四拾圓ヲ給フ（以上九月五日同）

免本職補第二師團經理部部員（軍馬補充部支部附）

補軍馬補充部鍛冶谷澤支部附（陸軍三等主計鍛冶谷澤）

免本職第二師團經理部附被仰付（第二師團經理部員）

第二師團經理部附被免（陸軍三等主計）

補第二師團經理部部員（陸軍三等主計）

天津駐屯步兵隊附被免第十師團經理部附被仰付（陸軍三等主計）

陸軍會計監督部部員被免天津駐屯步兵隊附被仰付（陸軍三等主計）

免本職補步兵第五十一聯隊附（陸軍三等主計）

免本職補步兵第五十聯隊附（陸軍三等主計）

免本職補步兵第五十七聯隊附（陸軍三等主計）

免本職補步兵第二十聯隊附（陸軍三等主計）

免本職補野戰砲兵第十聯隊附（陸軍三等主計）

免本職補教習衛戍病院附　步兵第十九聯隊附（陸軍三等主計）

大阪衛戍病院附被免（陸軍三等主計）

補步兵第十九聯隊附（陸軍三等主計）

免本職第十五師團司令部附被仰付（陸軍三等主計）

廣島衛戍病院附被免小倉衛戍病院附被仰付（陸軍三等主計）

（各通）　第七師團經理部部員　陸軍一等主計　岡崎松太郎

伏見衛戍病院附陸軍一等軍醫　鈴木　協平

陸軍一等軍醫　鈴木　協平

陸軍一等軍醫　小林佐市郎

陸軍一等軍醫　永井　學造

陸軍一等軍醫　鈴木榮次郎

陸軍一等主計　恩知　與策

陸軍一等軍醫　小林五郎六郎

陸軍一等軍醫　野田　義雄

陸軍一等軍醫　石田　五七

陸軍一等軍醫　畠山源五郎

陸軍一等軍醫　石田　四郎

陸軍一等軍醫　田中　四郎

陸軍一等軍醫　佐藤利惣治

陸軍一等軍醫　金光　卓爾

陸軍一等軍醫　松谷　覃思

陸軍一等軍醫　松谷　覃思

陸軍一等軍醫　根津　源吉

陸軍一等軍醫　花井　麓三

陸軍一等軍醫　鈴木　わか

陸軍一等軍醫　關場　万吉

陸軍憲兵少尉　原　曠

大洲區裁判所判事判事　森谷　強恕

文部省普通學務局長　白仁　武

文部大臣祕書官　赤司鷹一郎

文部大臣北海道ヘ出張ニ付隨行ヲ命ス（以上九月五日文部省）

牧野文部大臣北海道ヘ出張ニ付隨行ヲ命ス

賜本俸五級俸　京都帝國大學理工科大學教授理學博士　大幸　勇吉

京都帝國大學理工科大學教授理學博士

京都帝國大學法科大學教授法學博士　仁井田益太郎

京都帝國大學福岡醫科大學教授醫學博士　宮入慶之助

京都帝國大學理工科大學教授理學博士　水野敏之丞

（各通）　京都帝國大學法科大學教授法學博士　三輪桓一郎

京都帝國大學福岡醫科大學教授醫學博士　春木　一郎

京都帝國大學法科大學教授法學博士　三宅　速

本俸四級俸下賜

第7260号

本俸五級俸下賜
本俸七級俸下賜
二級俸下賜（以上九月七日同）
五級俸下賜
東京鑛山監督署在勤ヲ命ス（以上九月六日農商務省）
日本大博覽會事務局仕拂命令官ヲ命ス
日本大博覽會事務局歳入徴收官ヲ命ス
日本大博覽會事務局物品出納命令官ヲ命ス（以上日本大博覽會事務局）
三重縣度會郡神社町ヘ出張ヲ命ス（九月九日遞信省）
十級俸下賜
十三級俸下賜（以上九月六日臺灣總督府）
九級俸下賜（九月七日同）
賜一級俸
文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス（以上九月五日關東都督府）
十一級俸下賜
十一級俸（當分年俸六百六拾圓下賜）
九俸級下賜（以上八月十一日和歌山縣）
年俸二百圓下賜（九月三日德島縣）

（各通）

京都帝國大學文科大學教授文學博士　谷本富
京都帝國大學理工科大學教授工學博士　青柳榮司
京都帝國大學文科大學教授文學博士　松本亦太郎
京都帝國大學文科大學教授文學博士　松下禎二
京都帝國大學醫科大學教授醫學博士　高山尚平
京都帝國大學醫科大學教授醫學博士　高山正雄
京都帝國大學醫科大學教授醫學博士　和辻春次
京都帝國大學福岡醫科大學教授醫學博士　林春雄
京都帝國大學福岡醫科大學教授醫學博士　稲田龍吉
京都帝國大學福岡醫科大學教授醫學博士　中井恆一郎
京都帝國大學福岡醫科大學教授醫學博士　櫻井加門桂次郎
京都帝國大學醫科大學教授醫學博士　小川政修
京都帝國大學書記官　森春吉
京都帝國大學事務官　永井亨
鑛山監督署事務官（日本大博覽會事務官）　岡本英太郎
日本大博覽會事務官　岡本英太郎
日本大博覽會事務官　荒木賢保
臨時臺灣糖務局事務官　近藤武義
臺灣總督府國語學校教諭　森本修
臺灣總督府技師　芳賀鉄五郎
關東都督府事務官　浦太郎
關東都督府事務官　浦太郎
和歌山縣立農林學校教諭　草野鼎
和歌山縣立農林學校教諭　赤田永三郎
和歌山縣立新宮中學校教諭　田中福太郎
德島縣林業技師　三木壮太郎

○宮廷錄事

○東宮同妃還御　皇太子同妃兩殿下ハ本月六日午前十時四十分栃木縣下鹽原御用邸御出門午後一時十分西那須野停車場御發車同四時五十分上野停車場御著車同五時三十五分還御アラセラレタリ

○皇族饗著　曩ニ千葉縣下ヘ御出張ノ親仁親王殿下ハ本月六日御歸京アラセラレタリ

○官廳事項

○官吏饗著　過ニ歩兵第六聯隊演習實視ノタメ愛知縣渥美郡地方ヘ出張ノ田部歩兵第五旅團長ハ本月三日、歩兵第二十一聯隊特命檢閲ニ臨行ノタメ濱田ヘ出張ノ村山歩兵第二十一旅團長ハ同四日、廣手縣前澤町ヘ出張ノ第二師團參謀長阿部貞次郎ハ同五日凱旋歸著◎豐島要塞砲兵監ハ特別要塞砲兵演習施行ノタメ佐世保地方ニ向ヒ一昨七日出發セリ　學術上取調ノタメ千葉縣下演習林ヘ出張ノ川瀬東京帝國大學農科大學教授ハ去月三十日、同上ノ同學教授沼島八郎ハ同日出發セリ　過ニ上京ノ新竹廳長里見義正ハ本月六日出發歸任セリ　曩ニ上京ノ樺太廳警視橋原毛乃ハ本月六日出發歸任セリ　曩ニ上京ノ香川佐賀縣知事ハ本月五日出發歸任◎宮崎縣事務官柿沼竹雄宮崎縣技師保科圭三郎ハ同日孰モ上京セリ

○官吏遞卒去及死去　退職判事正三位勳三等名村泰蔵ハ本月六日辭去シ安濃津地方裁判所部長判事從五位勳五等大鑑英九郎ハ同一日卒去シ後備役陸軍歩兵大尉正七位勳四等功五級安岡正ハ去月五日、同陸軍輜重兵少尉正八位勳六等桝川勇文ハ同八日、現役陸軍歩兵中尉從七位勳六等功五級橋口武二ハ同十七日、休職農商務技師從七位佐藤多次郎ハ同二十二日孰モ死去セリ

司法

○裁判所及檢事局取扱件數　裁判所及檢事局ニ於テ本年七月中取扱ヒタル件數左ノ如シ

明治四十年七月中新ニ受理シタル民事事件四万九千九百二十七件之ニ舊受二万九千六百九十件ヲ加ヘ合計七万九千六百十七件ニシテ終局シタルモノ四万七千五百六十一件、終局セサルモノ三万二千五十六件之ヲ前月ニ比スレハ新受百十三件、舊受千百二件終局シタルモノ三千五百八十二件ヲ減少シ終局セサルモノ二千三百六十七件ヲ增加シタリ、第一審判決百ニ對スル控訴判決ノ結果ハ控訴ヲ棄却シタルモノ六十三件原判決ヲ變更若クハ廢棄シタルモノ三十七件トス、第二審判決百ニ對スル上告ノ比例ハ上告ヲ爲サシタルモノ三十八件、上告ヲ爲サヽルモノ六十二件其上告判決ノ結果ハ上告ヲ棄却シタルモノ七十四件原判決ヲ破毀シタルモノ二十六件トス

新ニ受理シタル刑事事件一万二千三百七十件之ニ舊受三千七百五十八件ヲ加ヘ合計一万六千百二十八件ニシテ終局シタルモノ一万千七百五十一件、終局セサルモノ四千三百六十七件之ヲ前月ニ比スレハ新受千二百六十四件舊受六十三件、終局シタルモノ千九百四十六件ヲ減少シ終局セサルモノ六百十九件ヲ增加シタリ　第一審判決百ニ對スル控訴ノ比例ハ控訴ヲ爲シタルモノ九件、控訴ヲ爲ササルモノ九十一件其控訴判決ノ結果ハ控訴ヲ棄却シタルモノ六十一件、原判決ヲ變更若クハ取消シタルモノ三十九件トス　第二審判決百ニ對スル上告ヲ爲シタルモノ十九件、上告ヲ爲ササルモノ八十一件其上告判決ノ結果ハ上告ヲ棄却シタルモノ九十件、原判決ヲ破毀シタルモノ十件トス

新ニ受理シタル檢事事件一万八千三百十九件之ニ舊受二千三百七十五件ヲ加ヘ合計二万六百九十四件ニシテ終局シタルモノ一万七千九百八件、終局セサルモノ二千七百八十六件之ヲ前月ニ比スレハ新受千七百九十五件舊受八十六件終局シタルモノ千四百七十件、終局セサルモノ四百十一件ヲ增加シタリ

以上裁判所ノ權限ニ依リ區別スレハ左ノ如シ

民事事件	總數 舊受	總數 新受	總數 計	非訟 判決	非訟 所判	非訟 調	非訟 不調	非訟 棄却	非訟 其他	非訟 計	未濟 管理中	未濟 中斷	未濟 中止	未濟 休止	未濟 計
地方裁判所 通常訴訟	四六八七	一六一〇〇	一〇五一三	八八一	一〇三六	一	一	一	一	一	五一二〇一	一	一	一	三一一三
同 證書訴訟	※一七二四	※一八〇一	※三二五	※一五三	※六二						※三三七				
同 爲替訴訟	一〇一	一	一〇二	七	二六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 第一審 爲替訴訟	※八	※一	※三	※一							※一				
同 同 人事訴訟	五七	二	五七	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 同 通常訴訟	※六	※一	※七	※一							※一				
同 同 證書訴訟	二四	一六三	二九	一五	五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 同 爲替訴訟	五六	七三	一三〇	八九	二三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 同 人事訴訟	※九	※三	※三	※九	※六						※一				
同 和解	四九	一六三	一三三四九	一五	一四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 禁治產、準禁治產、失踪、促進	五六七	七三	一三三四九	一五	一四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 家資分散公示催告	九二	七〇	一六二	八六	一四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 同	六二	二〇	一三八	一五	一四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 判決 假差押、假處分	四六七	一五七	三七二一	三七四	三七二一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 同 強制執行	一五七	一六〇	三七二一	三七四	三七二一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 同 競賣法ニ依ル競賣	二〇二八	八六八	二〇八九	一五七	五八二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 同 非訟事件手續法ニ依ル非訟事件	二六〇	二八六	四五七〇	四八三〇	四五七〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 同 其他ノ事件	一七二三	一九二六	一九〇五九	一八〇三	一八〇三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 計	※一七四三六	※一八八八	※三三四	※一八八八	※一八八八						※一七五九				
控訴院 上告	六八二	一六一〇〇	三三一三	四六七	四六七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 抗告	※九七六	※一二一	※二二一	※一二一	※一二一						※一二一				
同 假差押、假處分	一三四	一七二	一三四	一七二	一七二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 選擧訴訟及當選訴訟	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 其他ノ事件	七	一三	二三	一三	一三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同 計	一四九一	一八九二	三四一	一四〇一	一四〇一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※二五二	※二九二	※三四	※三〇	※三〇						※二一				

第7290号

刑事事件	大審院 上告	大審院 抗告	大審院 其他ノ事件	大審院 合計	區裁判所 刑法犯 輕罪	區裁判所 刑法犯 重罪	區裁判所 特別法犯	區裁判所 私訴	區裁判所 其他ノ事件	區裁判所 合計	地方裁判所 第一審 刑法犯 重罪	地方裁判所 第一審 刑法犯 輕罪	地方裁判所 第一審 特別法犯	地方裁判所 控訴 刑法犯 違警罪	地方裁判所 控訴 刑法犯 輕罪	地方裁判所 控訴 特別法犯	地方裁判所 抗告	地方裁判所 其他ノ事件	地方裁判所 合計	控訴院 控訴 刑法犯 重罪	控訴院 控訴 刑法犯 輕罪	控訴院 控訴 特別法犯	控訴院 上告 刑法犯 違警罪	控訴院 上告 刑法犯 輕罪	控訴院 上告 特別法犯	控訴院 抗告	控訴院 其他ノ事件	控訴院 合計
總數 舊受新受計	一二七	一	一	一二八	三四〇	一九三	一	一	一	一九五	一一八	一一八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一一	※一	※一	※一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
新受	一一六	一	一	一一七	三一八	一九二	一	一	一	一九四	一一六	一一六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一一	※一	※一	※一一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
舊受計	一二七	一	一	一二八	三四〇	一九三	一	一	一	一九五	一一八	一一八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一一	※一	※一	※一一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
非訟事件 判決	一	一	一	一	一二七	一	一	一	一	一	一四四	一四四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
訴訟事件 棄却	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
有罪	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
免訴	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
被告人	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
其他	一四	一	一	一五	三一九	一九一	一	一	一	一九四	一一六	一一六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
計	一四	一	一	一五	三一九	一九一	一	一	一	一九四	一一六	一一六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
審理中	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
停止	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一

事件	大審院 上告	大審院 抗告	大審院 其他ノ事件	大審院 合計	區裁判所	地方裁判所 控訴	控訴院 控訴	控訴院 上告	控訴院 抗告	控訴院 其他ノ事件	控訴院 合計
總數 舊受新受計	一二七	一	一	一二八	三四〇	一九三	一	一	一	一九五	一一八
	※一一	※一	※一	※一一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
新受	一一六	一	一	一一七	三一八	一九二	一	一	一	一九四	一一六
	※一一	※一	※一	※一一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
舊受計	一二七	一	一	一二八	三四〇	一九三	一	一	一	一九五	一一八
	※一一	※一	※一	※一一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
既濟	一	一	一	一	一二七	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
未濟	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
民事立會	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
總數 舊受新受計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
新受	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
舊受計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
既濟	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
未濟	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一

事件	大審院 上告	大審院 抗告	大審院 其他ノ事件	大審院 合計	區裁判所	地方裁判所 控訴	控訴院 控訴	控訴院 上告	控訴院 抗告	控訴院 其他ノ事件	控訴院 合計
總數 舊受新受計	一二七	一	一	一二八	三四〇	一九三	一	一	一	一九五	一一八
	※一一	※一	※一	※一一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
新受	一一六	一	一	一一七	三一八	一九二	一	一	一	一九四	一一六
	※一一	※一	※一	※一一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
舊受計	一二七	一	一	一二八	三四〇	一九三	一	一	一	一九五	一一八
	※一一	※一	※一	※一一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
既濟	一	一	一	一	一二七	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
未濟	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
民事立會	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
總數 舊受新受計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
新受	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
舊受計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
既濟	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一
未濟	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一	※一

○陸海軍

○生徒入校　陸軍中央幼年學校豫科及各陸軍地方幼年學校卒業生徒左記二百七十三人ハ本月一日（陸軍中央幼年學校豫科卒業生徒ハ同校本科生徒ヲ命シ各陸軍地方幼年學校卒業生徒ハ陸軍中央幼年學校本科生徒トシテ）入校セリ

（備考）表中※印ハ故陸軍大將ナリ

第72690号

又陸軍中央幼年學校（豫科）及各陸軍地方幼年學校生徒トシテ左記二百九十八人ハ同日入校セリ（以上陸軍省）

陸軍中央幼年學校豫科	田川 調一郎	山崎三子次郎	信敬
	青木 雄	吉田 正之	齋田
	小川 三郎	藤本 喜久夫	藤吉
	大久保 宋雄	黒田 豐治	瀬下
	兒玉 一夫	山村 寛次	鷲池
	小淦 元三	近藤 彪	向山
	永野 博夫	鈴木 繁二	大槻
	荒井 健一	鈴木 利幸	大内
	阿久刀川 健夫	石川 重雄	橘
	木村 二郎	池田 壽	杉木
	仁科 馨	村木 豊	石川
	小林 漸	鬼頭 銀治	中野
	竹尾 清嶽	林 英一郎	德江
	立見 文三郎	小久保 繁次郎	青砥
	翠川 次保	蜜 慶次郎	桧谷
	北村 勝三	板東 正臣	青海川
	稻葉 進造	松田 寛	加藤
	松澤 正雄	田中 甚十郎	結城
	國井 英一	辻 善次	鹿本
	篠田 鍾	原田 正次	南部
	幸田 晴造	吉原 安吉	高木
	内山 雄二郎	和田 昌雄	竹田
	井上 秀之助	野野 穣二郎	西岡
	原 宗長	石井 信	山本
	井口 茂	山本 乙男	千田
	高木 慎	後宮 太郎	吉田
	小松 巳三雄	久保田 乙男	松田
	遠藤 友載	山田 常盤	辻
	秋草 俊	淺井	田中
	千田 良季	中村	原田
	河野 健雄	湯村	和田
	小林 洋俊	村上	野野
	蟬賀 邦房	宗治	穣二郎
	松平 榮之助	清	昌雄
	武井 騰固	中村 志郎	高北
	笹岡 三千雄	金山 榮	長宮
	菅藤 喜代志	安井 金二	增野
	江澤 五郎	中村 志郎	優次
	河合 寛	湯村 宗治	八郎
	糸雅 二郎	佐東 清	千劍
	吉本 八雲	河上 彪	利
	小濱 光		喜雄
	永野		千代吉

陸軍中央幼年學校豫科及各陸軍地方幼年學校生徒トシテ左記二百九十八人ハ同日入校セリ（以上陸軍省）

仙臺陸軍地方幼年學校	遠藤 三郎	大谷 修	中野 孝一
	堀井 孝兒	大江 庸吾	德江 鈴雄
	松岡 久雄	川上 鞆一	青砥 慶一
	大谷 弘	中永 太郎	松谷 健
	加藤 啓	結城 一隆	青海川 弘
	千田 敬太郎	山本 信三	吉田 文七郎
	西岡 政一	竹田 三郎	鈴木 繁太郎
	高木 善次	田中 甚十郎	板東 正臣
	原田 正次	辻 寛	和田 昌雄
	吉原 安吉	松田	野野 穣二郎
	南部 義雄	石井 信	高北 千劍
	岡田 民一郎	山本	長宮 八郎
	永井 元	後宮 太郎	增野 優次
	橋本 孝一	田中	金山 均
	矢西 晴治	久保田 乙男	安井 榮
	武部 隆益	淺田	中村 志郎
	鹿田 正夫	山田 常盤	湯村 宗治
	廣明 恪	淺井	佐東 清
	大阪陸軍地方幼年學校	手島	河上 彪
	佐藤	盤	
	岩仲 義治	間	
	雛波 箇一		
	熊崎 隆		
	小林		
	安達 三則		
	仲 稔		
	山崎 克巳		
	花谷 仁而		
	富士元 正		
	山本 松次		
	小野田 信輝		
	藤吉 源		
	能美		
	藤木 昭		
	伍一		
	鴻巻 昇		
	山田		
	堀本		
	熊次郎		

陸軍中央幼年學校豫科	三井 文雄	中村	乾男
	石田 雄吉	笹原	咸彦
	村田 舒	岩切	信義
	眞舘 武明	牧野	吉郎
	川口 健	杉山	林
	山本 開作	邦彦	實一
	林 偶	四郎	永松
	小久保 修	牧野	清一
	蜜 慶次郎	荒牧	富永
	板東 正臣	宗樂	松川
	吉丸 貞	善輪	茂澄
	二神 智水	小宮	大木
	村上 貞	長野	知一
	名尾 武光	小川	龍聰
	河村 圭三	宮本	強
	松本 惠	高橋	清
	佐々木 五三	佐伯	利信
	吉永 義雄	竹林	高橋
	佐吉 正	市川	佐藤
	勝間 嶺文	佐々木	岡崎
	田村 清一	原田	佐久
	天野 佐藤	鉄男	畠倉
	高橋 義雄	笹	利信
	佐伯	岡	佐
	竹林	吉	正雄
	市川	正	巳
	義雄	安	遠
	佐々木	原	正雄
	原田	吉	櫛川
	名倉	河村	正雄
	河村	天晶	隆吉
	松本	寺川	田中
	吉永	梨岡	小島
	佐吉	重松	武夫
	勝間	下枝	門司
	田村	龍男	和知
	清一		櫻二
			仁
			愚
			阿野
			櫻蔵
			賓郎
			康英
			宗長
			茂
			慎
			宗長
			芳
			喜
			惠
			栞
			圭三
			清志
			寿男
			潔
			重松
			龍男

仙臺陸軍地方幼年學校	遠藤 三郎	大谷 修	中野 孝一
	堀井 孝兒	大江 庸吾	德江 鈴雄
	松岡 久雄	川上 鞆一	青砥 慶一
	大谷 弘	中永 太郎	松谷 健
	加藤 啓	結城 一隆	青海川 弘
	千田 敬太郎	山本 信三	吉田 文七郎
	西岡 政一	竹田 三郎	鈴木 繁太郎
	高木 善次	田中 甚十郎	板東 正臣
	原田 正次	辻 寛	和田 昌雄
	吉原 安吉	松田	野野 穣二郎
	南部 義雄	石井 信	高北 千劍
	岡田 民一郎	山本	長宮 八郎
	永井 元	後宮 太郎	增野 優次
	橋本 孝一	田中	金山 均
	矢西 晴治	久保田 乙男	安井 榮
	武部 隆益	淺田	中村 志郎
	鹿田 正夫	山田 常盤	湯村 宗治
	廣明 恪	淺井	佐東 清
	大阪陸軍地方幼年學校	手島	河上 彪
	佐藤	盤	
	岩仲 義治	間	
	雛波 箇一		
	熊崎 隆		
	小林		
	安達 三則		
	仲 稔		
	山崎 克巳		
	花谷 仁而		
	富士元 正		
	山本 松次		
	小野田 信輝		
	藤吉 源		
	能美		
	藤木 昭		
	伍一		
	鴻巻 昇		
	山田		
	堀本		
	熊次郎		

○軍艦發著 各港灣ニ於ケル軍艦發著左ノ如シ（海軍省）

艦名	月日	著	發	行先
曙	九、五	大湊		笠置
朝日	九、六	館山		新高
香取				高千穂
鹿島				笠置
常盤				釜山
出雲				比叡
磐手				丹後
淺間				丹後
				松島
				千代田
				元山
				宮津
				釜山

○醤油査定石高 大藏省ノ調査ニ係ル本年七月中醤油査定石高並ニ一月以降ノ累計左ノ如シ（大藏省）

稅務監督局名	縣名	醤油	溜	計	累計
		石	石	石	石
札幌	北海道	三、九八八	三、三五三	七、二四一	三、九八八
東京	東京	三、四〇一	二、八三二	六、二三三	三、四〇一
	埼玉	二、八三二	一、九二〇	四、七五二	二、八三二
	千葉	一、九二〇	一、四二一	三、三四一	一、九二〇
	山梨	六、四四四	四、〇四〇	一〇、四八四	六、四四四
計		二、六、八四四	一、八、二二二	四、三、六六六	二、六、八四四
京都	滋賀	三、〇四三	一、六二二	四、七六五	三、〇四三
計		三、〇四三	一、六二二	四、七六五	三、〇四三
大阪	大阪	三、九八九	三、〇八八	六、九七七	三、九八九
計		三、九八九	三、〇八八	六、九七七	三、九八九
大阪	奈良	一、八八八	八、八八九	一、九七七	一、八八八
計		一、八八八	八、八八九	一、九七七	一、八八八
大阪	和歌山	一、九七五	一、六三四	三、六〇九	一、九七五
計		一、九七五	一、六三四	三、六〇九	一、九七五
横濱	神奈川	二、八〇四	一、〇八〇	三、〇八四	二、八〇四
計		二、八〇四	一、〇八〇	三、〇八四	二、八〇四
神戸	兵庫	八、二二八	二、三三八	一〇、五六六	八、二二八
	岡山	一、〇四四	一、〇四四	二、〇八八	一、〇四四
計		九、二七二	三、三七二	一二、六五四	九、二七二
長崎	長崎	一、八〇〇	一、〇八〇	二、八八〇	一、八〇〇
	佐賀	七一八	五、九八五	六、七〇三	七一八
計		二、五一八	六、〇六五	八、五八三	二、五一八
新潟	新潟	二、〇四〇	一、二二八	三、二六八	二、〇四〇
計		二、〇四〇	一、二二八	三、二六八	二、〇四〇
長野	長野	一、三〇六	一、二一一	二、五一七	一、三〇六
計		一、三〇六	一、二一一	二、五一七	一、三〇六
宇都宮	栃木	一、八八四	一、八〇八	三、六九二	一、八八四
	茨城	五、八〇四	四、八三六	一〇、七四〇	五、八〇四
	群馬	二、三二五	一、九七五	四、三〇〇	二、三二五
計		九、九一三	八、〇一八	一八、九三二	九、九一三

名古屋	愛知	一、〇五七	七、〇四四
	三重	一、八一	三、五六八
	岐阜	一〇四	一、七六二
計		二、二四二	一一、〇六一
仙臺	宮城	二、〇〇一	八、一六一
	福島	二、九六六	三、四四四
	青森	五、七六八	四、七六一
計		一〇、七五五	一五、三五六
秋田	秋田	一、九一一	六、九二一
	山形	一、九〇〇	四、六七〇
計		三、八一一	一一、三九一
金澤	石川	一、九七八	七、二一七
	福井	一、一八八	四、三一七
	富山	一、三一九	四、六六六
計		四、三七五	一一、二二四
松江	島根	一、〇六三	六、四〇一
	鳥取	一、二八一	一、八二六
計		二、三四四	七、二二七
廣島	廣島	三、九〇四	一〇、八九一
	山口	一、三一四	一、八一八
計		五、二一八	一〇、七〇九
丸亀	香川	一、七九一	二、二一八
	德島	一、九七三	三、八
計		二、七六四	二、二二六
高知	愛媛	一、八〇〇	一、六六六
	高知	一、九二三	二、三一一
計		三、七二三	四、〇一一
熊本	熊本	二、四一九	一一、六六六
	福岡	二、三一二	四、一一九
	大分	二、四四五	一〇、七七九
計		一一、一二六	九、一一九
鹿兒島	鹿兒島	九四一	七、四二一
	宮崎	八〇七	六、一〇五
	沖縄	—	—
計		一、七四八	一三、五二六
總計		一三、八八二	一一、四〇〇

（備考）表中計數ノ符合セサルハ石米溝ノ端數ヲ切捨テタルニ因ル

○産業

○工業試驗場業務功程 愛媛縣工業試驗場明治三十九年度業務功程左ノ如ク報告アリ（農商務省）

第一 硫化色素及直接染料應用紺染試驗

本試驗ハ前年度以來ノ繼續事業ニシテ本年度ニ於テモ前年度ト略ゝ同樣左ノ十項ニ渉リテ試驗ス

一 直接染料ニテ染メタルモノ

二 硫化染料ニテ染メタルモノ

三 直接染料ニテ下染ヲ爲シ藍ノ上掛ヲ爲シタルモノ

四 硫化染料ニテ下染ヲ爲シ藍ノ上掛ヲ爲シタルモノ

五 藍ノ下染ヲ爲シ直接染料ノ上掛ヲ爲シタルモノ

六 藍ノ下染ヲ爲シ硫化染料ノ上掛ヲ爲シタルモノ

七 藍ノ下染ヲ爲シ直接染料ノ上掛ヲ爲シタルモノ

八 藍ノ下染ヲ爲シ硫化染料ニテ染メ再ヒ藍ノ上掛ヲ爲シタルモノ

九 直接染料ニテ染メ藍基性染料ノ上掛ヲ爲シタルモノ

十 硫化染料ニテ染メ藍基性染料ノ上掛ヲ爲シタルモノ

(一)直接染料ニテ染メタルモノ 本試驗ニ於テハ直接染料中「ブリウ」「ブラック」及「バイオレット」ノ數種ニ依リ或ハ草色或ハ「ブリウ」「ブラック」トヲ配合シ或ハ右染色ヲ「ダイアゾ」化竝ニ顯色ヲ施スヲ等種々試驗ヲ重ネタルモ正紺色ニ比シテ或ハ遜見ノ合ハサル或ハ赤味過キ或ハ黑色ニ傾キ適當ノ紺色ヲ染ムルコト難ク且ツ概シテ水洗其他日光酸「アルカリー」等ノ諸作用ニ弱ク適當ノ紺色ヲ染ムルコト能ハサリキ

(二)硫化染料ニテ染メタルモノ 本試驗ニ於テモ硫化染料中「ブリウ」「ブラック」「配合シ稍ゝ正紺色ニ近キモノヲ得タリ 即チ草色ニテハイムメヂアルブリウ(C1200)又ハ同(C800)及チオゲンインヂゴブリウ(C300)又ハピロゼンダークブリウ(B3)等ナリ又配合色ニテハノーアルピロゼン(C)其他ノ「ブラック」類ト配合セハ却テ以上ノ單色染ニ勝ルヲ見ル然レトモ色合及透見ニ於テ多少正紺色ニ及ハス以上ハ皆水洗及日光等ニ堅牢ナラシムルタメ丹礬ノ處理ヲ爲セリ

(三)直接染料ニテ下染ヲ爲シ藍ノ上掛ヲ爲シタルモノ 本試驗ニ於テハ直接染料ノミニテ染色シタルモ下染ノ結果面白カラサルヲ以テ藍ノ上掛ヲ爲シ缺點ヲ補ハントセシモ充分目的ヲ達スルニ至ラス唯「ダイアゾ」化竝ニ顯色ノ工程ヲ經タルモノニ藍ノ上掛ヲ爲シタルモノハ日光及水洗等ニ堪ヘルヲ認メタリ然レトモ手數複雜ニシテ染費亦安値ナラサルノ缺點アリ

(四)硫化染料ニテ染メタルモノ 本試驗ハ人造藍ノ使用量多キ割建藍液ハ劍脱シ易キ硫化染料ニテ染メ再ヒ藍ノ上掛ヲ爲シタルモノニシテ染色後處理ヲ施サス藍ノ上掛ヲ爲セリ其結果良好ニシテ殆ト正紺色ト同等以上ニ染ムルヲ得且ツ染費モ亦低廉ニシテ實用ニ適スルヲ認メタリ殊ニ硫化染料中ノ「アルブルピロゼン」C1ノ如キハ冷染シ得ルヲ以テ其染法大ニ簡便ナリ而シテ之ニ藍ノ上掛ヲ施セハ良好ノ紺色ヲ得レトモ少シク色合ニ於テ黑味ヲ有スルヲ以テ「ノーアルピロゼン」ニ「イムメヂアルブリウ」「チオゲンインヂゴブル」B2等ヲ少シク配合スルトキハ尚ホ一層良好ナル紺色ヲ得ヘシ

(五)藍ノ下染ヲ爲シ直接染料ノ上掛ヲ爲シタルモノ 本試驗ニ於テハ專ラ染費ヲ低廉ナラシメ且ツ堅牢度ヲ增サシムルノ目的ナリシモ好結果ヲ見ル能ハス下藍ノ淡キモノハ(一)試驗ト大差ナク反テ(三)試驗ノ如ク上ニ藍ノ掛ケシモノニ劣ルヲ見ル然レトモ紺染ニ於テハ紺部ト地色トノ間ノ色合ニキワヅ)ハ正藍色ニ類似シ結果少シク良好ナルヲ認ム

(六)藍ノ下染ヲ爲シ硫化染料ノ上掛ヲ爲シタルモノ 本試驗ノ目的ハ全ク(五)試驗ト同一ニシテ結果モ亦略ゝ同樣ナリキ

(七)藍ノ下染ヲ爲シ直接染料ニテ染メ再ヒ藍ノ上掛ヲ爲シタルモノ 本試驗ハ透見及色合等ヲ正紺染ニ酷似セシムルノ目的ヲ以テ試驗シタルニ稍ゝ目的ヲ達スルヲ得タリ即チ最モ好結果ヲ得シハ次ノ方法ニ依ル即チ初ニ藍ノ淡キ染ヲ爲シ之ヲ「ダイアミンオゲン」B1ヲ以テ普通直接染料染法ニ依リ染色シ之ヲ「ダイアゾ」化シ然ル後「メタフトール」ニテ顯色シ更ニ藍ノ上掛ヲ爲ス此方法ニ依リタルモノハ色合及透見共殆ト正紺色ト同樣ナルモ唯工程ノ複雜ナルト染費ノ多少高價ナルノ缺點アリ

(八)藍ノ下染ヲ爲シ硫化染料ニテ染メ再ヒ藍ノ上掛ヲ爲シタルモノ 本試驗ハ(七)試驗ト同一目的ニテ結果亦頗ル良好ナルヲ認メタリ初メ藍ノ下染ヲ爲シ之ヲ硫化染料「ブリウ」又ハ「ブラック」或ハ兩者ノ配合ニテ染メ再ヒ藍ノ上染ヲ爲ス方法ニシテ色味調合ニ能ク正紺色ニ酷似シ工程モ亦(七)ニ比シテ複雜ナラス染費モ亦相當ナルヲ認ム硫化染料中最モ好結果ヲ得シハ「ノーアルピロゼン」C1ニ「イムメヂアルブリウ」C300ヲ配合セシモノナリ此染料ハ前ニモ述ヘシ如ク冷染ニ適スレトモ一時間餘ヲ要スルヲ以テ撚糸ノ大七十度ニ達スレハ二十分間ニテ染色スルヲ得又紺部ヲ汚ス惧ナク沸騰位ニ五分間ニシテ充分堅牢ニ染色スルコトヲ得タリ

(九)直接染料ニテ染メ藍基性染料ノ上掛ヲ爲シタルモノ 本試驗ニ於テハ染費低廉ニシテ比較的堅牢ナルモノヲ得ントシ直接染料中「ブリウ」或ハ「ブラック」ノ類ヲ配合シテ染メ直ニ上掛ヲ施セシモノヲ及「ダイアゾ」化顯色ノ工程ヲ經テ「インドインブリウ」B2「ゼーナスダークブリウ」B3等ニテ染メ藍基性染料「インドインブリウ」B2「ゼーナスダークブリウ」B3等ニテ上掛ヲ施セシニ硫化染料ニテ染メタルモノヲ上掛ヲ爲シタルモノ 本試驗ニ於テハ前(八)ノ試驗ト同一ノ目的ニシテ試驗(二)ノ方法ト全ク同一ノ工程ニテ染メ藍基性染料「インドインブリウ」B2「ゼーナスダークブリウ」B3等ニテ上掛ヲ施セシニ硫化染料ニテ染メタルモノヲ上掛ヲ爲シタルモノヲ一層鮮基性染料ヲ吸收スルコト強ク且ツ染色ノ堅牢ニ於テモ大ニ勝レリ 鮮明ノ如キハ藍ノ上掛ヲ施シタルモノヨリモ一層良好ナルヲ認メタリ即チ最モ好結果ヲ得シハ「ノーアルピロゼン」C1ニ「イムメヂアルブリウ」C300ヲ配合セシモノナリ此染料ハ前ニモ述ヘシ如ク冷染ニ適スレトモ一時間餘ヲ要スルヲ以テ撚糸ノ大七十度ニ達スレハ二十分間ニテ染色スルヲ得又紺部ヲ汚ス惧ナク沸騰位ニ五分間ニシテ充分堅牢ニ染色スルコトヲ得タリ

(十)硫化染料ニテ染メ藍基性染料ノ上掛ヲ爲シタルモノ 本試驗ハ前(九)ノ試驗ト同一ノ目的ニシテ試驗(二)ノ方法ト全ク同一ノ工程ニテ染メ藍基性染料「インドインブリウ」B2「ゼーナスダークブリウ」B3等ニテ上掛ヲ施セシニ硫化染料ニテ染メタルモノヲ上掛ヲ爲シタルモノヨリモ一層良好ナルヲ認メタリ即チ最モ好結果ヲ得シハ「ノーアルピロゼン」C1ニ「イムメヂアルブリウ」C300ヲ配合セシモノナリ此染料ハ前ニモ述ヘシ如ク冷染ニ適スレトモ一時間餘ヲ要スルヲ以テ撚糸ノ大七十度ニ達スレハ二十分間ニテ染色スルヲ得又紺部ヲ汚ス惧ナク沸騰位ニ五分間ニシテ充分堅牢ニ染色スルコトヲ得タリ

第7260号

今ヤ各種ノ染料日々逐ヒテ發明セラレ殊ニ硫化染料ハ世ノ需要頗ル多大ニシテ之カ供給者モ亦改良發明ニ勉ムルノ結果續々良結ナル新染料ノ發見セラルヽヲ見ル依テ之カ研究ヲ怠ルナク來年度ニ於テモ本試驗ヲ繼續シ縣下當業者ノ便宜ニ供スルコトヽセン

第二 板締絣染ノ試驗

本試驗モ亦前年度ヲ繼續事業ニシテ本年度ニ於テハ專ラ絣絣ヲ試驗セリ其結果左ノ如シ

一 藍ノ下染ヲ爲シ硫化染料ニテ上染ヲ爲シタルモノ

二 硫化染料ニテ染メ藍ノ上染ヲ爲シタルモノ

三 藍ノ下染ヲ爲シ硫化染料ニテ上染ヲ爲シタルモノ

四 硫化染料ニテ染メ鹽基性染料ニテ上染ヲ爲シタルモノ

本試驗ノ準備工程即チ絣板ニ縮緬ヲ卷付ケ之ヲ板絣器ニテ締メタル前年度ノ試驗ト同ジク藍ノ下染ヲ爲シ硫化染料ニテ染メ再ヒ藍ノ上染ヲ爲シタルモノ

(一)藍ノ下染ヲ爲シ硫化染料ニテ上染ヲ爲シタルモノ　水試驗ハ(一)試驗ノ缺點即チ色合ノ不良ナルヲ補ハンタメ藍ノ上掛ヲ爲セモノニシテ其結果良好ニシテ殆ト正藍染ノ絣絣ニ酷似シタルモノヲ得タリ然レトモ絣部地色ト ノ間ノ色正藍色ニ比シ多少赤味ヲ帶ヒタル ハ面白カラサリキ

(二)藍ノ下染ヲ爲シ硫化染料ニテ染メ再ヒ藍ノ上染ヲ爲シタルモノ　水試驗ニ於テハ以上(一)及(二)ノ缺點ヲ補フハンタメ上下ニ藍染ヲ爲セリ其結果トシテ以上ノ缺點ヲ補フヲ得頗ル好果ヲ收ムルヲ得タリ

(三)硫化染料ニテ染メ鹽基性染料ノ上染ヲ爲シタルモノ　本試驗ニ於テハ專ラ染賃ノ低廉ナル絣絣ヲ得ルノ目的ニテ硫化染料ニテ染メ然ル後鹽基性染料ニテ上掛ヲ爲ス色合ハ前各色ニ劣ルモ染賃低廉ニシテ且ツ水洗日光酸石鹸ノ對シ充分堅牢ナル絣色ヲ得

本試驗モ亦絣染トシテ研究ノ餘地充分ナルヲ以テ來年度ニ於テモ繼續シテ試驗セントス

第三 新染料試驗

近來新染料類々トシテ發明セラルヽヲ以テ之カ試驗ヲ爲シテ當業者ノ便宜ヲ圖ラントシ左ニ試驗ノ結果ヲ報告ス

(一)黑色染法

染料　硫化曹遠　一五%　炭酸曹遠　一五%　硫酸曹遠　五%

右染浴ニテ三十分間煮染シ引上ケ能ク絞リ空氣中ニ三十分間掛置キ後水洗シ次ノ處理ヲ行フ

硫酸銅　一五%　鬼クローム酸加里　一五%　酷酸　五%

右溫液中ニ十分間浸漬シ引上ケ水洗乾燥ス

(二)著色及綠色其他各色染法

染料　硫化曹遠　一〇%　炭酸曹遠　四%　硫酸曹遠　三〇%

右染浴ニテ三十分間煮染シ引上ケ能ク絞リ空氣中ニ三十分間放置シ後水洗シ次ノ處理ヲ行フ

硫酸銅　一〇%　鬼クローム酸加里　一〇%　醋酸　一〇%

右溫液中ニ十五分間浸漬シ引上ケ水洗乾燥ス但シ第三號乃至第九號マテハ此處理法ヲ行ハス

一 沸騰水試驗　沸騰十分間ニシテ引上ケ乾燥ス

二 曹遠試驗　結晶炭酸曹遠一%ノ沸騰液中ニ入レ其儘放冷シ十分間ニシテ引上ケ水洗乾燥ス

三 石鹸試驗　「マルセール」石鹸〇・五%ノ沸騰液中ニ投シ其儘放冷シ十分間ニシテ引上ケ水洗乾燥ス

四 酷酸試驗　水狀酷酸一%ノ液ヲ攝氏四十度ニ溫メ其液中ニ入レ十分間ニシテ引上ケ水洗乾燥ス

五 摩擦試驗　摩擦器ニ掛ケ百々ノ錘ヲ下ケ二千回回轉ス

六 日光試驗　明治四十年三月中晴天ノ日ヲ撰ミ日光ニ晒射セシム其時間左ノ如シ

晴天　明治四十年三月中晴天ノ日　晒射時間 二時半

曇天　明治四十年三月中晴天ノ日　晒射時間 八時半

堅牢度ヲ大別シテ左ノ五ト爲ス

第一 最堅牢色

第二 最堅牢色

第三 稍〻堅牢色

第四 不堅牢色

第五 最不堅牢色

但シ堅牢度表ニハ一、二、三、四、五ノ數字ノミヲ記載ス 表中一ー二又ハ二ー三トアルハ一ト二、二ト三トノ間ナルコトヲ示ス

堅牢度表

番號	染料名	色合	沸騰水	賈遠	石鹸	酷酸	摩擦	日光
一	「チオゲンゴールトエルローAコンク」	暗黑色	一	二	二	二	三	三
二	「チオゲンオケンヂ」	OG帶黃暗橙色	二	二	二	二	三	三
三	「チオゲンピン」	帶赤紫色	二	二	二	四	二	二
四	「チオゲンバイオレット」	暗紫色	二	一	一	一	四	四
五	「チオゲングリーン」	GL綠色	二	二	二	三	二	二
六	「チオゲンブリウ」	B暗青色	二	二	二	二	二	二
七	「カチゲンインヂゴーBエキストラ」	青色	一	一	一	一	一	一
八	「ピロゼンインヂゴー」	B暗青色	二	二	二	二	二	二
九	「チオゲンダークブリウ」	VBIL黑緋色	二	二	二	二	二	二
一〇	「チオゲンダイアモンドブラック」	V黑色	二	二	二	二	二	二
一一	「チオゲンブラック」	4BBB帶黑色	二	四	二	二	二	二
一二	「サルファーブラック」	A黑色	四	三	二	二	二	二
一三	「サルファーブラック」	NG黑色	三	三	二	二	二	二
一四	「サルファーブリウエキストラ」	濃青色	三	三	二	二	二	二
一五	「サルファーダークブリウ」	SA濃青色	三	三	二	二	二	二
一六	「チオゲンインヂゴブリウ」	B濃青色	三	三	二	二	二	二
一七	「カチゲンブリウ」	青色	一ー二	一ー二	一ー二	一ー二	一ー二	一ー二
一八	「カチゲンインヂゴー」	R青色	一	一	一	一	一	一
一九	「ピロールインヂゴー」	M帶青黃色	一ー二	一ー二	一ー二	一ー二	一ー二	一ー二
二〇	「ピロールエルロー」	D帶赤褐色	一	一	一	一	一	一
二一	「イムメヂアルオレンヂ」	暗綠色	一ー二	一ー二	一ー二	一ー二	一ー二	一ー二
二二	「カチゲングリーン」	BB帶青暗綠色	二	二	二	二	二	二
二三	「カチゲングリーン」	2BX黑色	四	五	二	二	二	二
二四	「ピロゼンブラック」	BD暗青色	二	二	二	二	二	二
二五	「カチゲングロームゾリウ」	2R暗青色	二	二	二	二	二	二
二六	「チオゲンゾリウ」	B暗青色	二	二	二	二	二	二
二七								

本試驗ハ前年度ヨリ繼續施行セルモノニシテ本年度ニ於テ試驗シタル織物ハ本綿縞、瓦斯絣ノ二種トス

本綿縞ニ使用セシ筬ハ十算十二算ニシテ經絲ニハ二十番片撚絲或ハ四十二番撚絲ヲ用ヒ緯絲ニハ二十番片撚絲或ハ十五番片撚絲ヲ用フ組織ハ平織、吉野織ノ

如キ極テ簡單ナル平織ノ外ニ無シ而シテ本年度ニ於テ試驗シタル本綿縞ハ前年度ニ於ケル試驗ノ結果成績良好ナルニ依リ當業者ヲシテ之カ製造ヲ爲サシメタルニ大ニ社會ノ喝采ヲ受ケ流次流行ノ兆ヲ呈シ今ヤ注文續々トシテ殺到シ創業日尚ホ浅キニ拘ラス驚倒ノ域ニ達セントスシテ將來大ニ發展ノ形勢ヲ示セリ本縞ハ前年度ニ於ケル不丁試驗ヲ爲シ益〻完成ノ域ニ達セントス

黑絣ニ使用シタル筬ハ十算乃至十二算ニシテ最初十算ノ筬ヲ用ヒ經絲ニ二十番片撚絲ヲ用ヒ緯絲ニ以上ノ如キ筬及原料ヲ使用シ製織シタル成績ヲ檢スルニ筬十算ヲ用ヒ本綿縞ヲ製造スル場合ニハ經絲ニ二十番片撚ヲ地經絲ト爲シ緯絲ニハ四十二番撚絲ヲ用フルヲ適當トス而シテ斯ノ如ク織上ル黑絣ハ地合ハ稍〻粗大アルカ如キ感アレトモ地合強硬ニシテ且ツ強靭ニシテ耐久ノ力得ヘシ筬十二算ヲ用フル場合ニハ經絲ニ四十二番撚絲ヲ地經絲ニ用ヒ緯絲ニハ六十番瓦斯絲ヲ筬一羽四本入ニシテ用ヒ緯絲ニハ十五番片撚絲ヲ用ヒテ織成シタルモノハ前者ニ比シ著シク地織密ニシテ光澤ノ發揮スルヲ見ル亦綿縞ニ四十二番撚絲ヲ以テ織製スルトキハ地合平滑ニシテ且ツ光澤ノ一層增加スルヲ認メタリ

糊料トシテハ米利堅粉生麩、馬鈴薯澱粉等ヲ用フ而シテ織成シタル織物ニ就キテ其結果ヲ見ルニ二十番片撚絲ノ如キモノニハ蹉跎少麩ノ粉ヲ用ヒテ好結果ヲ得タルハ米利堅粉ナリトス其四十二番撚絲或ハ六十番瓦斯絲又ハ八十番百番ノ瓦斯絲ノ場合ニハ馬鈴薯澱粉ヲ用フルヲ可トス其絲一貫二百匁付キ六十匁乃至九十六匁ノ馬鈴薯澱粉ヲ用フルハ適當ニシテ緯絲ニハ普通ニ糊ヲ用ヒサレトモ其物本綿縞トシテ地質ノ硬キモノヲ望ムトキハ緯絲ニ使用シタル糊ノ殘液或ハ絲一貫二百匁ニ付キ二十匁位ノ糊ヲ用フルヲ可トス

瓦斯絣ハ本綿縞ニ次キ蹉下ニ奬勵ノ必要アルカ故ニ本場ハ之カ試驗ヲ爲ス所以ナリ

瓦斯絣ニ使用シタル筬ハ十四算乃至十八算ヲ用ヒ經絲ニハ六十番瓦斯絲或ハ八十番瓦斯絲ヲ用ヒタリ而シテ試驗シタル組織ハ平織經糸ニ緯絲ニハ四十二番撚絲ヲ用ヒ緯絲ニハ普通ニ糊ヲ用ヒサレトモ其物本綿縞ニ比シ地質ノ硬キニ過キ手觸リ甚タ不良ナリ後者ハ地質硬軟ノ度合適當ニシテ光澤亦充分ナリ是等一段ノ製造價格ハ前者ハ一圓七十錢ニシテ後者ハ一圓七十錢乃至一圓七十五錢ニテ製造シ得タリ之ヲ以テ見レハ前者ヨリ後者ハ幾分增額ヲ見ルト雖モ品質ニ於テハ前者ヨリ遙ニ優等ナルヲ認ム故ニ之カ製造ヲ爲ストキハ後者ノ材料ヲ以テ製織スルノ利益ナリトス

瓦斯絣ニ使用スル糊料ハ瓦斯絣ニ用ヒタルモノト同樣ナレトモ經絲絣ニ用フル絲ニハ瓦斯縞ノ場合ヨリハ多量ノ糊ヲ用ヒサルヘカラス要スルニ絣絲ハ製織ノ時成ルヘク絣絲ノ分離ヲ防クニ在レハナリ其分量ハ絲一貫二百匁ニ付キ百八十匁ノ馬鈴薯澱粉ヲ用フ然レトモ斯ノ如キ多量ノ糊ヲ「シルケット」ニ使用スルトキハ絲ノ光澤ヲ失フノ缺點アルニ依リ之ニ用フル糊ノ試驗ヲ爲スト雖モ未タ適當ナルモノヲ發見セス依テ來年度ニ繼續シ之カ研究ヲ爲サントス總テ何種ノ絣ヲ問ハス原料ハ如何ニ精撰スルト雖モ愈〻圖案、配色ノ妙合其宜シキヲ得ルニアラサレハ柄合ノ良好ナルモノヲ製造スル能ハサルヘシ殊ニ色絣、黑絣ニ於テハ絣ノ配色試驗ノ適切ナルヲ認メ黑コト能ハサルヘシ殊ニ色絣、黑絣ニ於テハ本場ニ於テハ絣ノ配色合ノ變化スル絣、色絣等ニ就キ配色ノ如何ニ依リテ多少地或ハ絣ノ色合ノ變化スルヲ見ル種々研究ノ結果初メ染色ヲ行フ際ニ於テ配色ノ理ヲ講究シテ強メ色ノ變化ノ度合ヲ計リテ染色スルヲ要ス

第六 絹綿交織試驗

本試驗ハ前年度ヨリ繼續施行セルモノニシテ前回試驗ノ成績ニ依リ大ニ當業者ノ注意ヲ喚起シ之カ製造ヲ企圖スルモノアルニ至レリ然レトモ元來本縣ハ粗大製織久ノ本綿縞製織ニ經驗アルモ精巧緻密ナル絹綿交織ノ製織ニ至リテハ殆ト經驗ナク甚タ不便ヲ感シタル所ナリ依テ本場ハ之カ指導奬勵ヲ爲サンカタメ本試驗ヲ行フ所以ニシテ本年度ニ於テ試驗シタルモノハ綿、絹ノ二種ニシテ其組織ハ平織、變化斜文織等ナリ

絹綿交織ニ使用シタル筬ハ十五算、十六算、十七算ニシテ經絲ニハ六十番瓦斯絲ハ十番瓦斯絲、絹絲ハ十八デニール位ノモノニ水或ハ四本合セ諸撚絲ヲ用ヒ緯絲ニハ六十番瓦斯絲或ハ八十番瓦斯絲ヲ用ヒタリ之ニ依リテ各種織物ノ製織試驗ヲ爲シ其成績ヲ檢スルニ十五算ノ筬ヲ以テ經絲ニハ六十番瓦斯絲ト絹絲十八デニール四本合セ諸撚絲トヲ用ヒ緯絲ニハ六十番瓦斯絲ヲ用ヒテ製織シタル結果ニ依レハ瓦斯絲ニ比較シテ絹絲ノ著シク目立タサルノ感アリ絹絲ヲシテ充分引立タシムルニハ十八デニール位ノモノ五本或ハ六本ノ諸撚絲ヲ用ヒサレハ其效ナシ若シ斯ノ如キ絹絲ヲ用フルトセンカ徒ニ製品ノ價格ヲ高ムルノミニシテ商品トシテ不適當ナルモノヲ製造スルニ至

第7260号

シ故ニ絹綿交織ニ用フル原料ハ第十七算ノ用ヒ經絲ニハ十番瓦斯絲、緯絲ニハ十八（デニール位ノモノ）三本合撚撚絲ヲ用ヒ緯絲ニハ八十番瓦斯絲ヲ用フルノ適當ナルヲ認ム而シテ之カ一段ノ製造價格ハ一三本合撚撚絲ヲ用ヒ緯絲ニハ八十番瓦斯絲ヲ用フルノ適當ナルヲ認ム而シテ之カ一段ノ製造價格

絹綿玉紬ハ大島紬ニ擬ヒテ極テ廉價ニ製造スルノ目的ニテ試驗シタルモノニシテ筬ハ最初二十六算ヲ以テ經絲ニ二十番片撚絲ヲ用ヒ算一羽ニ一本入トシテ製織ヲ行ヒタルトニ經絲ノ磨擦多クシテ製織ニ甚タ困難ヲ感シタリ依テ之ニ代ヘ一羽二本入ヲ爲シタリ而シテ之ニ用ヒタル緯絲ハ地絲ニ絹玉紬絲絲ヲ用ヒ經絲ニハ絹玉紬絲絲ヲ用ヒテ試織シタリ其成績ハ經緯絲ニ全部絹玉紬絲絲ヲ用ヒタルカ如キ外觀ヲ呈シ製造價格ハ非常ノ廉價ニ製造シ得タリ

第七　浴巾試驗

浴巾製織業ノ有望ナルコトハ本邦ニ於ケル最近ノ同業製產ノ統計ニ依リテ明瞭ナル所ナリ本縣ニ浴巾製造ヲ開始シタルハ數年前ニシテ越智郡今治町ニテ多少ノ產出アリ爾來過ヤトシテ振ハス甚尋所年ニ至リ西宇和郡八幡濱町、同郡川ノ石村、北宇和郡宇和島町ニ於テ續々トシテ浴巾製造ヲ開始スルモノアルニ至レリ蓋シ本縣ハ木綿織產地トシテ之カ經驗ヲ有スルカ故ニ浴巾製造ニ最モ適當ナリト信ス依テ本場ハ之カ奬勵的試驗ヲ爲ス

本試驗ニ使用セシ筬ハ餘ハ一寸間四十枚三十六枚三十四枚ニシテ筬幅ハ尺、一尺二寸、一尺三寸ノモノヲ用ヒテ經絲ニハ地經絲、毛經絲共ニ二十番片撚絲ヲ用ヒ緯絲ニハ一二五番片撚絲ヲ用ヒタリ而シテ地經絲ト毛經絲トノ整經尺ノ比ハ地經絲一ニ對スル毛絲ハ二・五ト爲ス

織機ハ在來ノ普通織機ヲ以テ之ニ充テ之ニ多少ノ改修ヲ加ヘ二重千切ト爲シ一ハ地經絲ヲ捲キ一ハ毛經絲ヲ捲キ裝置ト每シ綜絖ハ四枚ノ無撃綜絖ト踏木四本ヲ以テ製織ヲ爲ス

糊料トシテハ米糊堅粉ヲ用ヒ其分量ハ地經絲ニハ緯絲一貫二百匁ニ付キ百八十匁ヲ用ヒ毛經絲ニハ九十匁ヲ用フ

浴巾ノ仕上ハ生地浴巾一貫二百匁ニ付キ六十匁ノ炭酸曹達ノ液中ニ浴巾ヲ入レ煮沸シタル後其儘數時間放置シ取出シ能ク水洗シ「トワドル」二度ノ漂白液中ニ二十分間程浸漬シ白色ト爲リタルトキ取出シ再ヒ水洗シ稀酸液ニ通シテ水洗ヒ以上ノ方法ニ依リテ織成シタル浴巾試驗ノ成績ハ好結果ヲ得タリ

第八　「ヘール」式織機調査試驗

本縣ハ越智郡今治地方ニテ主トシテ白木綿ノ製織用トシテ使用セルモノナリ本場ニ於テハ該機ノ木綿綿ヲ製織適シスルヤ否ヤ試驗スルニ在リ其普通手織ト異ナル點ハ「ワープビーム」ハ「スプリング」ヲ以テ押ヘ自働的ニ經絲ヲ送出シ「クロスセーム」ハ自働的ニ捲取ノ裝置ヲ爲ス

本場ニ於ケル之カ試驗ノ結果ニ依レハ二本踏木ト二枚或ハ四枚ノ綜絖ニテ平織ヲ製織スルト同時ニ自働的ニ捲取ラルヽカ故ニ其捲取時間ヲ省キ從テ捲取ニ起ル織段ヲ防キ又經絲ノ常ニ一定ノ張力ヲ保チテ製織セラルヽニ依リ經絲ノ收縮ハ普通手織機ニ比シ甚タ僅少ニシテ約百分ノ六ノ縮縮ヲ見ルノミニシテ布面著シク平滑ナリ而シテ之カ生產高ハ手機ニ比シ一倍半ヲ製織シ得ルニ難カラサリシ故ニ一筬杼平織ノ木綿綿ヲ織ルニ適當ナルヲ認ム該機ハ布送リ「ロール」ニ紙鑑ノ捲付クアルカ故ニ濕シ綿絲ヲ織ル能ハサルノ缺點アリ依テ之ヲ打出板金ヲ以テ改ムルノ必要アリトス

第九　織機應用木綿織試驗

本場ハ清韓輸出向白木綿織ニ就キテ縣下當業者ニ向ヒテ大ニ誘掖奬勵ヲ爲サントスルニ當リ力織機ヲ使用シテ之カ製織ヲ爲スト同時ニ內地需要ノ木綿綿及無地紺木綿等ノ試驗ヲ爲サントス因テ前年度ニ於テ多田式織機一臺、管撚織一臺、整經機一臺、捲返機一臺ヲ購入シタリ是ニ於テ此各器械ノ据付工事ハ明治三十九年九月ニ起工シ同年十一月ニ至リ之カ完了ヲ告ケ十二月ヨリ運轉ヲ開始セリ而シテ多程式力織機及豐田式力織機ヲ以テ清韓向白木綿ノ試驗ニ著手シタリ其結果良好ナリ然レトモ未タ充分ノ成績ヲ得サルニ依リ來年度ニ繼續シテ之カ試驗ヲ爲サントス

第十　多田式浴巾力織機

本場ハ浴巾製織ノ普及發達ヲ奬勵シ木綿織物ノ種類ノ增殖ヲ圖ランカタメ本年度ニ於テ該織機ヲ購入シ其試驗ヲ完結セント企圖セシモ其据付落成ニ意外ノ時日ヲ要シ遺憾ナカラ其完結ヲ見ルニ至ラサリキ依テ引續キ四十年度ノ試驗事項ト爲セリ

○通運

○內國郵便爲替　本邦（臺灣ノ分）及在清各局所ニ於ケル本年四月中內國郵便爲替ノ振出總額ハ證書枚數百十六万七百九十二枚其金額千三百五十七万千六百五十二圓二十九錢五厘ニシテ拂渡證書枚數百十九万八千四百四十四枚其金額千四百四十五万三百三十五圓七十六錢九厘トス其詳細左ノ如シ（△印減）

種別	四十年四月分	前年同月分	比較增減
振出 證書枚數 通常爲替	三四〇、八三〇	三四〇、九八〇	△一五〇
振出 證書枚數 電信爲替	一、三八〇	一、三〇〇	八〇
振出 證書枚數 小爲替	六五二、七二一	六五二、七二一	〇
振出 證書枚數 合計	一、〇〇五、〇三三	一、〇〇五、〇三三	〇
振出 金額 通常爲替 有料	八、三四〇、〇〇〇、〇〇〇	九、九七七、六四四、〇四八	△一、六三七、六四四、〇四八
振出 金額 通常爲替 無料	一、三八一、九一四、五四五	一、〇七七、一四九、九三三	三〇九、四一七、六一〇
振出 金額 通常爲替 計	一、八九五、二七二、〇〇〇	一、〇五〇、九四〇、〇〇〇	三八五、三三二、〇〇〇
振出 金額 電信爲替 有料	一、九四四、四五七、六二九	一、七八四、六〇三、六二一	一五九、八五二、三六七
振出 金額 電信爲替 無料	一、三五七、六五二、九五五	一、五二九、四〇五、九〇〇	二、〇四二、四六三、九五
振出 金額 電信爲替 計	一、四五五、〇三三、七六八	二、一〇九、四四六、〇二一	一、三九七、一〇〇、〇二八
振出 金額 小爲替 有料	二、三四〇、六三一	九四〇、六六一	二、三九九、〇三一
振出 金額 小爲替 無料	五八、八六六、〇	二、〇五五、八六四	三五、八〇二
振出 金額 小爲替 計	二、三九八、三六	二、〇九五、五三五	二、〇〇〇
振出 金額 一枚平均	二〇、五八	一〇、八七二	一〇、八六
拂渡 證書枚數 通常爲替	一〇、一四三、〇一〇	一〇、一四三、〇一〇	〇
拂渡 證書枚數 電信爲替	二、九一	二、九一	〇
拂渡 證書枚數 小爲替	六一	四、四四四、四〇〇	一
拂渡 證書枚數 合計	一、〇一四、〇三五	五、一二七、一八七〇	一
拂渡 金額 通常爲替	三、三四〇、〇〇〇、〇〇〇	三、九九七、六四〇、〇〇〇	一、二六〇、〇〇〇、〇〇〇
拂渡 金額 電信爲替	二、九一四、四四〇	二、九一四、四四〇	〇
拂渡 金額 小爲替	一、〇五七、〇五	一、〇五七、〇五	〇
拂渡 金額 合計	三、三四七、〇〇〇、〇〇〇	三、九九七、六四〇、〇〇〇	一、二六〇、〇〇〇、〇〇〇

又同月中ニ於ケル郵便取立金ノ口數、金額左ノ如シ（以上通信省）

四十年四月分	前年同月分	比較增減
口數 受入 拂渡	一〇〇、三四〇	一〇〇、三四〇
口數 受入 拂渡	一〇、五一七、〇五	一〇、五一七、〇五
口數 受入 拂渡	一〇、九九一、二九五、八八一	一〇、九七七、六四〇、〇〇〇
口數 受入 拂渡	一、一七五、七八五、八〇八	九〇五、〇九三、五一三
金額 受入 拂渡	八〇一、〇九七、六四〇	二七〇、六九二、九九九

○外國郵便爲替　本邦及清韓各局所ニ於ケル本年四月中外國郵便爲替ノ振出證書枚數千二百九十五枚其金額四万八千百十五圓十三錢ニシテ外國ヨリ振込ミタル證書枚數八千四百枚其金額六十二万四千六百二十二圓二十錢トス其詳細左ノ如シ（通信省）

國名	振出 證書枚數	振出 金額	振込 證書枚數	振込 金額
聯合各國	二八一	一〇、一四三、〇一〇	一一、二八五、四六〇	一〇〇、七二五、七〇〇
英國	二九	八、九三五、五一〇	七一、八二三、一四〇	九五、九〇〇
英國媒介地方	六	四、四四四、四〇〇	三八四、大一〇	七、六四四、〇〇〇
米國	一	五、二七一、八七〇	大二四、大二二、一〇〇	四九四、〇〇〇、〇九〇
米國媒介地方	四九	三三九、五七〇	一、八八一、一〇	一三〇、六二三、一〇
計	五		別 二六四	別 一、六五

	振出 證書枚數	振出 金額	振込 證書枚數	振込 金額
布哇	九二	一、九四五、〇一〇	一、七八五	一〇〇、七二五、七〇〇
カナダ	一九	一、一三八、〇一〇	五一	九五、九〇〇
加奈陀	一三	一、三三三、〇三〇	一三	八三七
香港	五一	一、九九四、〇六〇	一〇	三八四、大一〇
香港媒介地方	一、一九五	四八、一一五、三三〇	一四五	七、六四四、〇〇〇
總計	一、一六一	三八、六四七、九八〇	八四〇〇	四九四、〇〇〇、〇九〇
前年同月分	一、三四	九、四六七、三三〇	七、二二二	一三〇、六二三、一〇
同上比較增	別 一一五	別 二四五	一、八八一	別 一、六五

○衛生

○傳染病患者及死亡者數　本年六月中傳染病患者及死亡者數左ノ如シ（內務省）

道府縣	虎列刺 患者	虎列刺 死者	赤痢 患者	赤痢 死者	腸窒扶私 患者	腸窒扶私 死者	痘瘡 患者	痘瘡 死者	猩紅熱 患者	猩紅熱 死者	實施後累計 「ペスト」 患者	實施後累計 「ペスト」 死者
北海道	一	一	四七	二二	一〇	五	一	一	一六	二	一〇五	九
東京	一	一	二一〇	六六	一	一	一	一	二六	五	三六	三
京都	五	二	五五	一九	二	一	一	一	九一	三	一五七	七
大阪	四	二	三五	一九	一	一	一	一	二	一	八三	七
神奈川	一五	五	五一	一〇	一	一	一	一	一三	一	三四	五
兵庫	八	四	四三	二	一	一	一	一	一六	一	一四	一
長崎	二五	一	二六	八	一	一	一	一	一九	一	一	一
新潟	一	一	六二	二	一	一	一	一	三九	一	一	一
埼玉	六	二	三三	一四	一	一	一	一	一三	一	一	一
千葉	一六	二	七〇	九	一	一	一	一	一九	一	一	一
群馬	一	一	九	二	一	一	一	一	一五	一	一	一
栃木	一三	一	三三	一四	一	一	一	一	一三	一	一	一
茨城	一三	一	五一	二	一	一	一	一	一一	一	一	一
福岡	一一	一	二三	二	一	一	一	一	一一	一	一	一
愛媛	一〇	一	一三	一	一	一	一	一	一三	一	一	一
佐賀	二	一	二一	一	一	一	一	一	一一	一	一	一
大分	二	一	二一	一	一	一	一	一	一一	一	一	一
熊本	二	一	一一	一	一	一	一	一	一一	一	一	一
宮崎	七	一	一一	一	一	一	一	一	一一	一	一	一
鹿兒島	三	一	二一	一	一	一	一	一	一一	一	一	一
沖縄	一五八	一	七〇	一六六	一	一	一	一	一一	一	一	一
合計	一、一五四	一六	一、六六六	三三五	一六	一	一	一	八	九九六	二二一	二一
本年一月以來ノ累計	九二一	一五	六、四〇八	一、五六一	二九	一五	一七	一	三九	二九七	二、四二一	八七

正誤

去月十九日本欄官吏死去ノ項中十五日ハ十三日ノ報告誤

陸軍大臣官房

○帝國議會

○貴族院

○議員辭去及弔辭　貴族院議員退職判事正三位勳三等名村泰藏本月六日辭去ニ付キ一昨七日左ノ弔辭ヲ贈レリ

貴族院ハ議員退職判事正三位勳三等名村泰藏君ノ長逝ヲ追悼シ恭ク弔辭ヲ呈ス

○在外公館報告

○傳染病過報　清國在留本邦人傳染病病況ニ付キ帝國總領事館及領事館ヨリノ週報左ノ如シ（外務省）

天津（自八月十四日至同二十八日）　類似虎列刺患者一人アリ

北京（自同月二十八日至同月二十五日）　同

牛莊　同　腸窒扶私患者一人アリ

○安東虎列刺病況　安東ニ於ケル虎列刺病況ニ付キ同地駐在領事岡部三郎ヨリ本月六日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（外務省）

日清人雜居ノ商市街ニ虎列刺流行ノ兆アリ道臺ト協力シテ調査及治療ニ從事セリ我新市街及附近ノ鐵道用地ニモ今日マテ五人ノ邦人患者ヲ出シ內三人ハ死亡セリ當地ヲ流行地ト見做スヘキヤ否ハ調査ノ結果ヲ待ツ筈ナリ

○漢口虎列刺發生　漢口ニ於ケル虎列刺發生ノ件ニ付キ同地駐在領事水野幸吉ヨリ本月四日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ（外務省）

當地英國居留地「チャーターヤ、バンク」副支配人虎列刺ニ罹レリ右ハ上海ヨリ汽船ニテ當シタル關係ニ感染シタルモノト思ハル

第72690号

○新嘉坡虎列刺病況　新嘉坡ニ於ケル虎列刺病況ニ付キ在同地領事館事務代理外務書記生岸倉松ヨリ去月二十二日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ　本月四日本欄内參看

（外務省）

前報後當地ニ發生セル虎列刺患者ハ本月十四日正午ヨリ同二十日正午ニ至ル六日間ニ其數三十五人ニ達シ即チ本年一月一日ヨリ本月二十日マデニ發生セルモノ累計百四十三人ニシテ内死亡者百三十六人ナリトス

○浦潮斯德出入船舶ニ關スル檢査施行令令　浦潮斯德港出入ノ船舶ニ對シ乘船員名簿其他ノ檢査施行ニ關スル命令發布ニ付キ同地駐在賀易事務官野村基信ヨリ去月二十日附ヲ以テ左ノ如ク譯報アリ（外務省）

戒嚴令施行地ニ關スル規則ニ基キ黑龍江沿岸總督ノ發布セル本年露曆七月二十八日附第八號命令

第一條　外國ヨリ露國沿海洲ノ沿岸各地ヘ來港スル各船舶ノ船長ハ港務局員、憲兵隊所屬警察官若クハ普通警察官ノ來著スルマデ船内ヨリ人員ヲ上陸セシメ又ハ貨物及手荷物ヲ陸揚セシムルヲ得ス

第二條　警察官吏ノ船舶ヘ來著スルトキハ船長ハ左ノ書類ヲ提示セサルヘカラス

第一　船舶ニ搭乘シ居ル一切ノ人員名簿表（乘客及乘組員等）

第二　乘客ノ携帶スル旅券

第三　乘客荷物目錄表（手荷物ヲ除ク）

前記各簿表（第一）及目錄表（第三）ハ船長ノ署名ヲ要ス右ノ外船長ハ警察官吏ノ請求アル場合ニハ直ニ船舶ニ搭乘セル人員及其荷物ノ一部若クハ全部ヲ點檢セシメサルヘカラス

第三條　沿海洲沿岸各地ヨリ外國ヘ出港スル各船舶ノ船長ハ出帆前乘客及乘組員以外ノ人員ヲ下船セシメサル後第一條第一、第二及第三項ニ規定セル名簿表、目錄表及旅券ヲ警察官吏ニ提示シ且ツ其請求アル場合ニハ船舶ニ搭乘セル人員及其荷物ノ一部若クハ全部ヲ點檢セシメサルヘカラス

第四條　入港又ハ出港船舶ニシテ前記書類ニ記載セサル人員若クハ荷物ヲ發見セラレ或ハ規定ノ居住券ノ所持セサル乘客ヲ發見セラレタル場合ニハ行政處分ニ依リ船長ヲ三箇月以内ノ禁錮若クハ三千留以下ノ罰金ニ處ス本刑罰ハ第二條及第三條ニ規定セル名簿表目錄表及旅券ニ提示若クハ船舶内ニ在ル人員及荷物ノ點檢ヲ拒ミ又ハ警察官吏來著前ニ船内ヨリ人員ヲ上陸セシメ或ハ貨物及手荷物ヲ陸揚セシメタル場合ニモ之ヲ適用ス

第五條　第一條乃至第四條ニ記載セル事項ハ規定ノ許可證ヲ有シ外國ノ各港ヨリ警察官ノ駐在セサル漁場ヘ直航スル漁船ニ對シテハ之ヲ適用セサルモノトス

第六條　沿海洲ニ於テ本命令ニ違犯シタル場合ノ行政處分及犯則者ニ罰金ヲ科スルノ權限ハ戒嚴令施行地ニ關スル規則第十九條第三項ニ基キ沿海洲軍務知事ニ委任ス

本命令ハ本年露曆八月二十日ヨリ施行ス

黑龍江沿岸總督　ウンテルベルゲル署名

○新嘉坡米況　新嘉坡ニ於ケル米況ニ付キ在同地領事館事務代理外務書記生岸倉松ヨリ本月六日發ヲ以テ左ノ如ク電報アリ　本月二十七日　外務省

暹羅各等米二二四、二〇五、一八三、ラングーン一等米一六二、柴梶一等米長粒一七八、圓粒一七二、在荷高凡ソ暹羅米一万二千擔、ラングーン米六千擔、柴梶米七千擔市況手堅シ

○蘇州米價及稻作狀況　蘇州ニ於ケル米價及稻作狀況ニ付キ在同地領事館事務代理外務書記生大賀龜吉ヨリ去月二十七日附ヲ以テ左ノ如ク報告アリ（外務省）

昨年春秋期季ノ大降雨ハ當地方ニ於ケル農作上ニ非常ノ影響ヲ及シ之カタメ江蘇省ノ北部一帶地方ハ殆ト米穀ノ收穫ヲク蘇州附近モ僅ニ二三分ノ收納ヲ得タル位ナリシヲ以テ同年正月ノ米價ハ擔（百斤）四弗二十三仙ナリシモ九月ニ至リ九弗三暴騰シ年末ノ頃五弗六十七仙ニ下落セリ然ルニ本年ニ至リテハ再ヒ騰貴ノ一方ニ傾キ五六月ノ頃ハ常ニ八九弗ノ間ヲ昇降細民ノ困難漸ク甚シク政府ハ爲ニ官米ノ糶賣ヲ始メ毎一升（我五合半位）五千文ヲ以テ貧民ニ賣與シ居レリ水月ニ至リ天候恢復シ今後暴風雨ナクハ本年ノ稻作ハ十分平年以上ノ收穫見込立チタルヲ以テ頃日白米ノ市價ニ擔ニ付

半七八十仙ノ下落ヲ見ルニ至レリ初メ稻苗植付季ニ際シ降雨ナク農民頗ニ煩悶シ居リシモ六月中旬時降雨アリシヲ以テ漸ク植付ヲ了リシカ其後七月中旬頃マテ霖雨打續キ再ヒ作柄ノ如何ヲ杞憂スルニ至リシモ水月ニ及ヒ天氣快晴暑熱加リ先ツ現下ノ有樣ニテハ適順ノ天候ニ恢復シタルカ故ニ前記ノ如ク今後大風雨ノ襲來ナキトキハ平作以上ノ收穫アルヘシトノ見込ナリト云フ

○觀象

○全國氣象　九月六日

地方官廳所在地	氣壓 午前八時	氣壓 午後六時	溫度 午前八時	溫度 午後六時	溫度 最高	溫度 最低	風向	風力	雨量	天氣 午前八時	天氣 午後六時
東京	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
横濱	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
新潟	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
長崎	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
神戸	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
大阪	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
名古屋	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
和歌山	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
長崎	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
鹿兒島	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
宮崎	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
高知	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
大阪	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
名古屋	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
和歌山	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
長崎	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
鹿兒島	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
宮崎	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
高知	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
大阪	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
名古屋	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
和歌山	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
長崎	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
鹿兒島	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
宮崎	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴
高知	七五〇・〇	七五〇・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	二六・〇	北東	一		晴	晴

○天氣概況　琉球南方ノ颱心ハ昨日發徐々北東方ニ轉向シツヽアルモノヽ如ク目下其中心ノ位置ハ沖繩島ノ南東海上ニ在リ而シテ中心ノ氣壓ハ未タ之ヲ審ニスルコト能ハスト雖モ約七百三十粍ナルモノヽ如シ今朝六時那覇ニテハ氣壓七百四十四粍四ヲ示シ名護ニテハ七百四十八粍四ヲ示シ尚ホ急降シツヽアリ又昨日本海南部ニ發生セシ副低氣壓ハ北東ニ急行シ今朝日本海ノ北部ニ在リ本州南東部ハ晴天ノ所多シト雖モ其他ハ概ネ曇天ニシテ急ニ降雨アリタリ

琉球及九州南部ハ東乃至北東ノ風强ク北海道南部ニテハ南西ノ風强シ

金華山、石卷、福島、附近、熊本、大分附近及石川ニハ今朝濃霧發生シ本邦西部ニハ昨夜處々雷雨アリ嚴原、福田、西郷、岡山、多度津等處々多量ノ降雨アリタリ

○低氣壓概報

目下沖繩島ノ南島海上ニ存スル颱風ノ中心ハ其發生地ヲ審ニスルヲ得スト雖モ去月末馬利亞那群島ノ西方ニ出顯シ同月三十一日馬尼剌附中央氣象臺ノ報ニ依レハ同日午前ニハ颱心ハヴァム島ノ北東方ニ在リテ馬利亞那群島ニ接近シツヽアリ又在上海ノヂカウエ氣象臺モ馬利亞那ト小笠原島間ニ颱心アリ西行スルヲ報シタリ同日本臺發行ノ天氣圖天氣概況中ニ通報シタル八重山列島ノ南方海上ノ低氣壓ハ乃チ此颱心ヲ指シタルモノニシテ當時此中心ハ西方ニ徐行シツヽアリキ而シテ九月一日馬尼剌氣象臺ノ報知ニヨレハ颱心ハ八月三十一日ノ午後島利亞那群島ヲ横キリタルモノヽ如シ九月三日ニ至リテハ颱心ハヒリッピン群島ノ東方海上ニ來リ北西ニ轉向シ徐々琉球諸島ニ向ヒテ進行シ來リ四日ノ午後ニ至リテハ宮古島ノ南東海上ニ在リ殆ト潛留ノ狀ヲ爲シ著シキ進行ヲ爲サス蓋シ颱心ハ徐々北西方ヨリ北東方ニ轉向シツヽアリシカタメナルヘシ本邊ニテハ同日午後四時二十五分ニ琉球諸島ニ風雨ノ虞アル報シタリ五日ニ至リテ中心ハ呂宋ノ北東北緯二十度邊ニ在リテ尚ホ轉向中ニ在リ依テ本邊ニテハ五日午前八時二十五分琉球諸島ニ暴風雨ノ警戒ヲ發シタリ六日ノ午前六時ニ於テハ中心ハ沖縄島ノ南東方ニ在リテ北緯二十三度東經百三十度邊ニ在リテ北東ニ向フモノヽ如シ琉球諸島ニテハ五日ノ午後ヨリ北東風强シト雖モ暴風雨アルノミニシテ未タ暴風雨ト爲ルニ至ラス

○全國天氣豫報　九月九日

地方官廳所在地	九月九日	九月十日
第一區	北ノ風、概ネ晴	第六區　第五區ニ同シ
第二區	第一區ニ同シ	第七區　南又ハ西ノ風、概ネ曇後晴
第三區	第一區ニ同シ	第八區　第七區ニ同シ
第四區	第一區ニ同シ	第九區　南ノ風、概ネ雨後曇
第五區	南又ハ西ノ風、概ネ晴但シ雨模樣ノ所アリ	第十區　第九區ニ同シ

○東京地方天氣豫報

九月八日午前九時發　南又ハ西ノ風晴

九月八日午後四時發　南ノ風曇但シ驟雨ノ模樣アリ

○暴風警報　九月六日午後十一時二十五分一區ノ内陸ノ警戒ヲ解キ風雨ノ稍烈シキ虞アリ同七日午前九時四十分第五乃至八區ノ海陸暴風雨ノ虞アリ（風向東ヨリ南ニ廻フントス）同日午後四時二十五分二乃至四區ノ海陸風雨（風向東ヨリ南ニ廻フントス）同日午前九時二乃至四區ノ海陸暴風雨ノ虞アリ（風向東ヨリ南ニ廻フントス）同日午後五時零分二乃至八區ノ海陸ノ警戒ス

○地震　宮崎外二箇所ノ地震報告左ノ如シ

宮崎　九月六日　午後五時三十八分十一秒　微（感震ナシ）　性質緩

父島　同　九月六時六分四十秒　同

硫黄島　同　午後十一時十二分三十五秒　同

（以上中央氣象臺）

○廣告

○檢閲濟翻刻物

明治四十年八月二十七日陸軍省發行

一三八式野砲操法假規定　定價金二錢

一三八式野砲射擊假規定　定價金一錢

右檢閲濟

明治四十年八月二十九日翻刻發行　東京市麹町區半町四番地　小林　又七

○貯金通帳亡失及盜難

明治四十年九月　陸軍省

左記貯金通帳亡失及盜難ニ罹リタルニ付キ若シ其所在ヲ發見シタル者ハ速ニ最寄郵便貯金取扱局所ニ届出ツヘシ

明治四十年九月　預ケ人氏名

記番號	交付局所名	預ケ人氏名
第三二四四 くすい	下關郵便爲替貯金管理支所	平川民二郎
九九九九	安藝	ヒサノ
大九九	備後	土生
五七〇 くにわ	安藝	吉浦
七七一 くはば	黑木	水田
九五三 ていさ	筑後	前田
三五三 のな	長門	福田
九六一 のいね	周防	南桑
一六一 のろ紀	長門	湯本
第三二四二 そて	下關郵便爲替貯金管理支所	宮永
一二一	大村水小路	太松
一七五 そゑ為	肥前	吉橋
二〇四四 くうそ	安藝	鈴張
三四四三 ふれ	石見	温泉津
第三二四四 そたそ	下關郵便爲替貯金管理支所	志波
一四二九	郵便爲替貯金管理支所	木原
一二五九 ひろの	肥後	砥用
一〇四五	同	緒方
一六七七	同	緒方
五四〇	筑前	沖端
四四〇 てはむ	筑後	梅野
五四五 てはけ	筑前	湯下
一四一三 てはか	筑後	宿黄
一四六一 てはせ	植木	丸武
四一三八 てはろう	福岡	十亀
二二三一	四日市	波邊
一〇一四 なるめ	中津	今永
第三二四四	豐後町	松本
一七七一三五	下關郵便爲替貯金管理支所	補川
一四四七七 のは	長門	河村
二四九五	東	清熊
二五七七 ても	筑前	内田
二四九五	深江	澤野
二八三五 て紀	博多中石堂	親長
三四四	肥前	佐世保今福
三四四 そほれ	同	荒木
一三五三	同	恵六
一三五三 そ紀み	同	西大村局

記番號	交付局所名	預ケ人氏名
第三二四四 くや	下關郵便爲替貯金管理支所	花田秀太郎
二六八四	元廣島大手	觀口安次郎
二六五八	安藝	井原
六八八	同	英堅
六二七	大原	玉之進
六〇二七	滿洲	福本
一九七三	奉天支局	柳次郎
七一三	肥後	八吉
七二九	郵便爲替貯金管理所	上柳
八〇九	豐後	戸畑
九九	長門	桑山
一〇一	同	和吉
四四九	同	篠目
四五〇	同	笹尾
九九	同	笹尾
一七三八	大和	五條
一四二一	越前	井春山
一四二一 せい	同	北川
二六八	播磨	三方
三三六六	紀伊	井原
三八八三 さほ	備前	天城
四八五〇 ほろ	大阪	川口
二二一九	大阪郵便爲替貯金管理支所	竹貝
三五〇五	河内	宗一
九五四	御厨	吉田
三八一四	大阪	夫婦橋
二四四六	同	寺根
九八六	空堀	櫟川
三八三三	郵便爲替貯金管理所	宮武
九八六	播磨	杜
一六一	丹波	治
二五八二	加賀	佐
一五三六	津	山口
一五三六	輔	多賀
一五三六	山	吉永
一五三六	廣	昌

記番號	交付局所名	預ケ人氏名
二六八四	下關郵便爲替貯金管理支所	元田
二六五八	安藝	觀口
六八八	同	安次郎
六二七	滿洲	井原
六〇二七	奉天支局	英堅
一九七三	肥後	玉之進
七一三	郵便爲替貯金管理所	福本
七二九	豐後	柳次郎
八〇九	戸畑	桑山
九九	長門	一橋
一〇一	同	和吉
四四九	同	篠目
四五〇	同	笹尾
九九	同	笹尾
一七三八	大和	五條
一四二一	越前	井春山
一四二一 せい	同	北川
二六八	播磨	三方
三三六六	紀伊	井原
三八八三	備前	天城
四八五〇	大阪	川口
二二一九	大阪郵便爲替貯金管理支所	竹貝
三五〇五	河内	宗一
九五四	御厨	吉田
三八一四	大阪	夫婦橋
二四四六	同	寺根
九八六	空堀	櫟川
三八三三	郵便爲替貯金管理所	宮武
九八六	播磨	杜
一六一	丹波	治
二五八二	加賀	佐
一五三六	津	山口
一五三六	輔	多賀
一五三六	山	吉永
一五三六	廣	昌

第7260号

郵便為替貯金管理所

千葉縣印旛郡成田町成田　小倉　三之助
八百八十六番地
愛知縣知多郡大高町高見　久野　まやう
三十七番地

統監府通信管理局

滝田　丈造

第三師團經理部

明治四十年九月九日

統監府通信管理局

滝田　丈造

第三師團經理部

明治四十年九月九日

7260

一白米　但シ外國米　百五十石
右購買ス入札望ノ者ハ當監ニ就キ入札入心得書ヲ得ヘシ
入札保證金各自見積價格百分ノ五以上
入札書提出スヘシ即時開札ス
此契約ハ東京監獄典獄勝澤正營擔任ス
明治四十年九月九日

東京監獄

一本材類　十五點
一松挽材類　延幅三百尺
一欅平割薄板類　延長四百尺
一鋸綱板同　三十枚
以上新橋納
右購買ス入札望ノ者ハ當部倉庫課ニ就キ入札入心得書及契約書案等熟覽ノ上當日午前十一時限入札書
入札保證金各自見積價格百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
入札者ハ二年以來其業ニ從事シ且ツ明治三十
三年遞信省令第十九號ノ資格ヲ備フル要ス
入札望ノ者ハ入札當日マテニ當局會計課又ハ甲府、八王子、長野、松本、上諏訪各郵便局ニ就キ入
札人心得書、契約書案及仕樣書案熟覽ノ上本月十六日午前十時三十分マテニ入札保證金ヲ納入シ同日午
前十一時限入札書ヲ甲府郵便局ニ差出スヘシ即時同局ニ於テ開札ス
此契約ハ東京郵便局長野村繼擔任ス
明治四十年九月九日

東京郵便局

○購買入札公告中取消

本月六日木綱內揭載當部購買入札公告中當部ニ於テ入札ヲ執行スヘキ「上等煙草五點」ノ入札ハ取消
ス
明治四十年九月九日

帝國鐵道廳計理部

○工事請負入札

一橫須賀工廠雜材陸場擴張工事
但シ區盤二千六百二十二立坪五合、土留板柵延長三百十間、檢査場一箇所、物置引建直シ瓦葺三坪
入札保證金各自見積價格百分ノ五以上、契約保證金落札高百分ノ十（圓未滿切上ク圓止トス）入札
者ハ二年以來其業ニ從事スル者ニ限
右請負望ノ者ハ本部建築科ニ就キ仕樣書、圖面、契約書案、工事請負心得書、入札人心得書及現場等熟覽ノ
上本月二十五日午前十時限同科ニ入札スヘシ同十一時同科ニ於テ開札ス但シ現場ハ同二十一日指示ス
此契約ハ橫須賀海軍經理部長福永吉之助擔任ス
明治四十年九月九日

橫須賀海軍經理部

東京區裁判所南品川出張所

動物質王肥料合資會社登記事項中左ノ如ク變更ス
一無限責任社員ハ共貴任ノ有限ト變更シ出資額ヲ金一千一百圓ト變更セリ
一無限責任社員松浦直吉同小川亀太郎ハ各共出資額ヲ金一千一百圓ト變更セリ
一左記四名ハ新ニ入社セリ
一金一千圓　有限　東京市本所區水所小泉町三十五番地
一金一千圓　無限　同市同區同町同番地
一金一千圓　同　東京府豐多摩郡大久保百人町八十四番地
一金二百圓　有限　東京市本所區菊川町一丁目四十番地　河田長吉
右明治四十年八月二十一日辭任シ宗久仁輔ハ同日代表社員ニ就任セリ
右明治四十年八月四日登記

東京區裁判所小松川出張所

株式會社多摩村銀行府中支店登記事項中左ノ如ク變更ス
一監査役小川平吉廣田彦雄ハ明治四十年八月二十日辭任セリ
右明治四十年九月五日登記

八王子區裁判所府中出張所

石橋留助除請負合名會社社員石橋武三郎ハ其持分全部ヲ石橋ロク（讓渡退社シタルニ因リ左ノ通變
更ス　一金二千五百圓　横濱市壽町二丁目九十六番地
右明治四十年九月三日合名會社登記簿第四號ヘ登記ス

横濱區裁判所

合資會社英米物産商會清算結了ス　明治四十年九月一日
一清算結了ノ年月日
右明治四十年九月三日合資會社登記簿第四十二號ヘ登記ス

横濱區裁判所

シングルトン、ペンダ、エンド、コンパニー、リミテッド支店代表者テー、エー、シングルトン死亡シタルニ
因リ左ノ通變更ス
一橫濱支店代表者ノ氏名住所　横濱市山下町九十六番　ゼオルジ、フルター、ブロックハースト
右明治四十年九月三日外國會社登記簿（株式會社ノ部）第十一號ヘ登記ス
ゼスタンダード、オイル、カムパニー、オブ、ニユー、ヨーク登記事項中左ノ通變更ス
一支店代表者ノ氏名住所　横濱市山下町八番地北米　ハーバート、ブレイ、エンスウオース
右明治四十年九月四日外國會社登記簿（株式會社ノ部）第三十四號ヘ登記ス

横濱區裁判所

株式會社相模英染織行樣須賀支店ハ左ノ箇所ニ支店ヲ設置ス
相模國三浦郡長井村四千五百四十四番地
右明治四十年九月五日株式會社登記簿第一冊第九號ニ登記ス

横須賀區裁判所

株式會社土浦農銀行登記事項中左ノ如ク變更ス
一取締役五頭庄三郎ハ明治四十年六月二十四日辭任セリ
右明治四十年九月五日登記

土浦區裁判所

合資會社鹿島登記
一商號　兩毛印刷合資會社
一本店　新木縣足利郡足利大字足利二千四百二十一番地
一目的　活版石版其他諸般ノ印刷及之レニ附帶ノ事業ヲ營ムヲ以テ目的トス

帝國鐵道廳鹿兒島出張所

○入札拂下

一克式七珊牛野砲前車以下野戰車輛　十二點
一三吋速射野砲表尺以下大砲屬具類　六十點
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右賣却ス買受望ノ者ハ鄰市區町村長ノ奥書アル住所證明書携帶當廠ニ出頭シ入札心得書、契約書案及現
品（現品ハ本月十七日ヨリ同二十日マテ熟覽セシム）ヲ熟覽ノ上同二十三日午前十一時マテニ入札書ヲ
當廠ニ差出スヘシ即時開札ス
此契約ハ大阪陸軍兵器支廠長新妻義佐擔任ス
明治四十年九月九日

大阪陸軍兵器支廠

一三吋速射野砲器具箱以下車輛用雜類　七點
一軍刀鞘以下小銃屬品、彈丸破片及揮彈類　十三點
以上入札保證金各自見積代價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右賣却ス買受望ノ者ハ本月九日ヨリ同二十三日マテ當部執務時間內ニ當部ニ就キ入札心得書、契約書
案及現品熟覽ノ上同二十五日午前十一時限當部ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ第五師團經理部長上田五郎擔任ス
明治四十年九月九日

第五師團經理部

一厚毛布外百三十八點　第五師團經理部在廠
入札保證金各自見積代金百分ノ五以上
右賣却ス買受望ノ者ハ本月九日ヨリ同二十三日マテ當部執務時間內ニ當部ニ就キ入札心得書、契約書
案及現品熟覽ノ上同二十五日午前十一時限當部ニ入札スヘシ即時開札ス
此契約ハ第五師團經理部長上田五郎擔任ス
明治四十年九月九日

第五師團經理部

第一號
一廢品毛布　三千枚
一同夏糯袢　三百箇
一同夏袴袢　二百六十二箇
一同冬糯袢　四百八十箇
一同冬袴下　四百三十箇
以上入札保證金各自見積價百分ノ五以上（圓未滿切上ク）
右賣却ス買受望ノ者ハ本月十八日ヨリ同二十日マテ熟覽セシム）ヲ熟覽ノ上同二十五日午前十時マテニ入札保證金ヲ納付シ同十一時入札スヘシ即時開
札ス
此契約ハ第七師團經理部長小森遠太郎擔任ス
明治四十年九月九日

第七師團經理部

第二號
一廢品絨衣　一同敷布　千七箇
一同絨袴　二百箇
一廢品第二種帽　四千五百六十箇
一同防寒腰引　千七百箇
以上歩兵第十六聯隊（旭川屯在）在廠品
右賣却ス買受望ノ者ハ鄰市區町村長若クハ戶長ノ居住
證明書アル者ニ限ル其證明書ハ入札前日マテニ當部ニ差出スヘシ
右賣却ス買受望ノ者ハ本月十三日ヨリ同二十三日マテ當部執務時間內ニ當部ニ就キ入札心得書、
契約書案及現品等熟覽ノ上同二十五日午前十時マテニ入札保證金ヲ納付シ同十一時入札スヘシ即時開
札ス
此契約ハ第七師團經理部長小林區署擔任ス
明治四十年九月九日

第七師團經理部

去月三十一日本欄內揭載入札拂下公告中第九聯隊陸軍多賀郡蕨川村大字花園字大持澤國有林內一杉生
立本三百七十二本　此材積二千五百九十一尺メ物件搬出期限二箇年以內トアルハ公賣ヲ見合セタルヲ取
消シ物件搬出期限第八號第十六號ハ一箇年以內ニ訂正ス
明治四十年九月九日

高萩小林區署

正誤

本月二日本欄入學許可ノ項中新潟信四郎ノ上新潟縣平民ノ下ハ（○○郡縣平民ノ報告誤
ニ付キ訂正ス

文部省參事官

一設立年月日　明治四十年九月一日
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿十箇年
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
一金二千五百圓也　無限責任　栃木縣足利郡足利大字足利百三十七番地
一金二千圓也　同　同縣同郡同町大字同所九百三十五番地
一金五百圓也　同　同縣同郡同町大字同所乙百六十四番地
一金五百圓也　同　同縣同郡同町大字同所丙三百十一番地
一金五百圓也　同　同縣同郡同町大字同所二千四百二十番地
一金七百圓也　有限責任　同縣同郡足利町大字福富田村大字福富田七十四番地
一金三百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利七十一番地
一金三百圓也　同　同縣同郡北郷村大字保五百十三番地
一金三百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利百八十四番地
一金二百圓也　同　同縣同郡山邊村大字朝倉四十四番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利三十一番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利百九十一番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利二百六十二番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利二百九十二番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利二百九十四番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利三百十四番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利三百十六番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利三百十八番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百十四番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百十六番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百十八番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百二十番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百二十四番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百二十六番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百二十八番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百三十番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百三十二番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百三十四番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百三十六番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百三十八番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百四十番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百四十二番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百四十四番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百四十六番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百四十八番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利四百五十番地
一金二百圓也　同　同縣同郡毛野村大字北鹽田七十五番地
一金二百圓也　同　同縣同郡毛野村大字北鹽田七十四番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利九十四番地
一金二百圓也　同　同縣同郡足利町大字足利九十五番地
一金二百圓也　同　同縣同郡御廚村大字同所三百十二番地
一金二百圓也　同　同縣同郡御廚村大字同所千百十九番地
一金二百圓也　同　同縣安蘇郡佐野町二千九百九十三番地
一金二百圓也　同　同縣同郡堀米村大字堀米二百七十五番地
一金二百圓也　同　同縣足利郡足利町大字足利百七十九

一存立時期
後見人登記第一號
一後見人ノ氏名住所
一被後見人ノ氏名住所
一營業ノ種類
右明治四十年九月三日登記

大同生命保險株式會社登記事項中變更　大阪市西區土佐堀通一丁目四番屋敷取締役廣岡久右衛門同市同區土佐堀通一丁目一番地同區燈三東京市芝區芝公園第十三號地八番地同區同千秋京都府船井郡園部村五十嵐二丁目四田山東京府豐多摩郡千駄ヶ谷町字千駄ヶ谷八百七十番地同菊池熊太郎京都市下京區大和大路四條下ル二丁目十九番戸監査役岩田幸七大阪市東區廣小路町十三番地同星野行則ハ何レモ再選重任セリ
右明治四十年九月二日登記

日吉合資會社登記事項中變更　代表社員磯村篤次郎ハ滿期退任京都市下京區正面通木町來入茶屋町十三番戸同渡邊喜多郎同市同區大黒町通五條上ル音羽町三番戸同海老名醒助ハ滿期重任ス
東近江船株式會社登記事項中變更　京都市上京區室町上立賣上ル室町頭町監査役大西長兵衛滋賀縣大津市白玉町同岡田定治郎同縣同市桝屋町同小西友吉ハ再選重任セリ
右明治四十年九月三日登記

株式會社姫路銀行赤穗支店資本金拂込登記　第二回拂込トシテ新株四千株ニ對シ一株ニ付金七圓五十錢宛拂込金額ノ拂込濟ト為シタリ
右明治四十年九月三日登記

株式會社協同竹田銀行本店移轉登記　本店ヲ朝來郡竹田村ノ內竹田町二百六十四番地ノ一ニ移轉ス
右明治四十年九月四日登記

株式會社賀業銀行本店移轉登記　豐岡區裁判所竹田出張所
右明治四十年九月四日登記

愛知縣渥美郡渥美井町大字東淺井百二十九番地株式會社丹藥銀行淺井出張店ハ明治四十年八月二十九日
明治四十年八月三十一日
右公告ス

明治四十年八月三十一日

一宮區裁判所犬山出張所

丹羽郡布袋町大字小折四百二十八番戸株式會社丹藥銀行登記事項中左ノ通變更ス
一明治四十年二月二十七日臨時株主總會ノ決議ニ因リ淺井出張店ヲ淺井支店ト變更ス
明治四十年九月二日登記
右公告ス

明治四十年九月二日

一宮區裁判所布袋出張所

去月三十日揭載西濃印刷株式會社商業登記公告中八月十五日拂込完了ノ誤謬ニ付更正ス
明治四十年九月四日

大垣區裁判所

商號登記第十四號
一賀月旅館ハ明治四十年九月一日其商號ヲかげつ旅館ト變更
右明治四十年九月四日登記

小野田セメント製造株式會社登記事項中左ノ通變更　拂込未濟ノ新株各株ニ付拂込タル金額二十四圓加ス
(一)增加資本ノ總額金九万圓(二)資本增加決議ノ年月日明治三十九年九月二十二日(三)各新株ニ付拂込タル金額金十二圓五十錢
右明治四十年八月三十一日登記

船木區裁判所藤出出張所

株式會社賀業銀行ハ明治四十年七月二十三日資本增加ニ關スル株主總會終結ノ結果左記登記事項ヲ追加ス
(一)增加資本ノ總額金九万圓(二)資本增加決議ノ年月日明治三十九年九月二十二日(三)各新株ニ付拂込タル金額金十二圓五十錢
右明治四十年八月三十一日登記

福井區裁判所

株式會社賀業銀行本店移轉登記　本店ヲ福井市ノ內福井町二百六十四番地ノ一ニ移轉ス
右明治四十年九月四日登記

豐岡區裁判所竹田出張所

愛知縣渥美郡渥美井町大字東淺井百二十九番地株式會社丹藥銀行淺井出張店ハ明治四十年八月二十九日
明治四十年八月三十一日
右公告ス

明治四十年八月三十一日

一宮區裁判所犬山出張所

丹羽郡布袋町大字小折四百二十八番戸株式會社丹藥銀行登記事項中左ノ通變更ス
一明治四十年二月二十七日臨時株主總會ノ決議ニ因リ淺井出張店ヲ淺井支店ト變更ス
明治四十年九月二日登記
右公告ス

明治四十年九月二日

一宮區裁判所布袋出張所

株式會社賀業銀行本店移轉登記　本店ヲ朝來郡竹田村ノ內竹田町二百六十四番地ノ一ニ移轉ス
豐岡區裁判所竹田出張所
右明治四十年九月四日登記

福井區裁判所

株式會社賀業銀行本店移轉登記　豐岡區裁判所竹田出張所
右明治四十年九月四日登記

豐岡區裁判所竹田出張所

株式會社賀業銀行ハ明治四十年七月二十三日資本增加ニ關スル株主總會終結ノ結果左記登記事項ヲ追加ス
(一)增加資本ノ總額金九万圓(二)資本增加決議ノ年月日明治三十九年九月二十二日(三)各新株ニ付拂込タル金額金十二圓五十錢
右明治四十年八月三十一日登記

八幡濱區裁判所

九州連絡株式會社ハ明治四十年八月十二日清算結了ス
右明治四十年九月三日登記

株式會社中津貯金銀行登記事項中左ノ通取締役逸沼義一西野三二郎山口半七加來新次郎草野文治監査役中山又二郎井上繁郎桑園長次郎辛島松太郎滿期改選ノ處何レモ當選重任ス
右明治四十年九月三日登記

中津區裁判所

岡羽運輸倉庫株式會社解散登記
明治四十年九月一日臨時株主總會ノ決議ニ依リ解散ス
右明治四十年九月三日登記

鶴岡區裁判所

○法人登記

營利ヲ目的トスル法人登記
海津綿織株式會社ハ明治四十年八月二十五日取締役及監査役任期滿了改選左ノ者當選就任ス
取締役　中川市三郎
取締役　高島郡百瀨村大字知內八十二番屋敷　磯野源治郎
取締役　重任　高島郡海津村大字海津八十五番屋敷　松本忠治郎
監査役　重任　高島郡海津村大字海津二百五十一番屋敷　西川文三郎
監査役　重任　高島郡西庄村大字寺久保二十五番屋敷　中川文金六
監査役　重任　高島郡百瀨村大字知內百番屋敷
右明治四十年九月三日登記

今津區裁判所

法人設立登記　名稱上伊勢報德社　事務所島取縣東伯郡市場村大字上伊勢村百三番地　目的二宮先生ノ遺法ヲ遵奉シ勤儉推讓ノ奬勵シ報德ノ事業ヲ立ツ　設立許可ノ年月日明治四十年六月十五日存立時期設立許可ノ日ヨリ滿二十箇年　資產ノ總額金六百二十圓　出資ノ方法土臺金普種金トシ土臺金ハ社員ノ寄附金社外篤志者ノ寄附金貸附上ヨリ生ズル剩餘金等積金ハ社員節儉積金理事ノ氏名住所島取縣東伯郡市場村大字上伊勢村十四番地村岡萬喜藏　同縣同郡同村大字同村五番屋敷蹴井藏縣
右明治四十年九月三日

倉吉區裁判所赤崎出張所

○產業組合登記

大中信用組合登記事項變更登記　出資一口ノ金額ヲ五十圓ニ增加ス
右明治四十年九月四日登記

姫路區裁判所加古川出張所

無限責任桑田信用購買販賣組合設立登記　名稱ハ無限責任桑田信用購買販賣組合　組織ハ無限責任
事務所兵庫縣加東郡來住村ノ內桑田村八百八十七番地　目的一組合員ノ產業ニ必要ナル資金ヲ貸附シ及貯金ノ便宜ヲ役セシムルコト二農事及生計ニ必要ナル物ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ賣却スルコト三組合員ノ委託ヲ受ケ其生產シタル農產物ヲ販賣スルコト　設立許可ノ年月日明治四十年七月十七日
出資一口ノ金額金十圓　出資拂込ノ方法第一回拂込金額ハ出資ノ日ヨリ一箇月內ニ金一圓第二回拂込後ハ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外組合員ハ出資各口ニ付毎年六月末及十二月末ニ金一圓ヲ拂込ム事　理事ノ氏名住所兵庫縣加東郡來住村ノ內桑田村二十九番屋敷綱崎清之助同村三十四番屋敷奚崎仙吉同村八百六十三番地小西吉郎　監事ノ氏名住所兵庫縣加東郡來住村ノ內桑田村八百六十四番地小西良次郎同村二十四番屋敷小倉四三郎　存立ノ時期滿三十箇年間無限責任右信用組合登記中左ノ通變更ス
一死亡理事東出宇平一項事就任石川縣江沼郡三木村宇右三十四ノ六十二番地中出小平一監事就任石川縣江沼郡三木村宇右三十四ノ九十番地奥出久藏
右明治四十年九月四日登記

大聖寺區裁判所

產業組合設立登記第二號　名稱　有限責任大川內村信用及購買組合　組織　有限責任
產業組合登記第二號　名稱　有限責任大川內村信用及購買組合　組織　有限責任
松浦郡大川內村甲四千四百七十三番地　目的一組合員ノ產業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便利ヲ得セシムルコト二組合員ノ產業又ハ生計ニ必要ナル物ヲ購買シ之ヲ組合員ニ賣却スルコト　設立許可ノ年月日明治四十年四月十七日　出資一口ノ金額金五圓　出資拂込ノ方法出資第一回拂込金額ハ一口ニ付金一圓トシ第一回拂込ミ後ハ剩餘金ヨリ拂込ミニ充ツルモノ、外毎年一月末及七月

宋ニ金一圓宛拂込ムモノトス　理事ノ氏名住所　佐賀縣西松浦郡大川內村甲四千四十四番地前川長八同所八十八番地川原伊太郎同所四千九十七番地山口太市同所五百四十四番地森佐太郎同所五百二十三番地堀山利太郎同所四百八十三番地原善作同所四百二十七番地イ山口熊市　監事ノ氏名住所　佐賀縣西松浦郡大川內村甲二千八百九十八番地前田久太郎同所五十四番地諸石兵藏　存立時期　設立許可ノ日ヨリ十箇年
右明治四十年八月三十日登記

○相續財產管理人選任

本籍富山縣高岡市定塚町千百十九番地平民農　伊萬里區裁判所
文久元年二月四日出生、明治三十六年十月五日同所ニ於テ死亡　富山縣高岡市一番町四十八番地
被相續財產管理人　米田　又吉
被相續人　石塚　もと
右ニ對シ利害關係ノ人母亦ハ入ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十年八月二十六日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ
明治四十年九月三日

○準禁治產宣告

富山縣高岡市定塚町千百十九番地平民農　高岡區裁判所
被相續人　石塚　もと
右ニ對シ利害關係人母亦ハ入ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十年八月二十六日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ
明治四十年九月三日

○準禁治產宣告

富山縣高岡市定塚町千百十九番地平民農　高岡區裁判所
被相續人　米田　又吉
右ニ對シ父祿常廣次ノ申立ニ因リ當裁判所ハ浪費者ト認メ準禁治產ヲ宣告ス
明治四十年八月三十一日

○準禁治產宣告取消

滋賀縣野洲郡中里村大字木部七百九十一番地　田中汝男藏
右ニ對シ明治三十七年九月二十九日當區裁判所カ宣告シタル準禁治產ハ實父清左衛門ノ申立ニ因リ之ヲ取消ス
明治四十年九月二日

大津區裁判所

滋賀縣滋賀郡膳所町大字別保千七十七番地士族農　望月　順一
右ニ對シ明治四十年二月二十二日當區裁判所カ宣告シタル準禁治產ハ其叔父望月毅正ノ申立ニ因リ之ヲ取消ス
明治四十年九月三日

大矢早利

判事　大矢早利

石川縣江沼郡作見村字片山津乙五十一番地士族旅人宿業　森本須天丸
明治三十六年五月二十六日當區裁判所ノ宣告シタル右須天丸ノ準禁治產ハ父三郎ノ申請ニ因リ取消ス
明治四十年八月二十八日

大聖寺區裁判所

判事　鹽田元恆

鳥取縣東伯郡赤碕町大字別所村四百十九番地平民農　入江　律藏
明治三十九年六月八日當區裁判所ノ宣告シタル前記氏名ノ準禁治產ハ同居入江忠八ノ申立ニヨリ之ヲ取消ス
明治四十年九月二日

倉吉區裁判所

判事　岡村迪

○公示催告

富山縣婦負郡四方町大字四方町二千三百六十五番地戸主平民漁夫　亡松三郎　發子漁夫
不在者　總谷米次郎
右ニ對シ要綱谷たつヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十一年三月十日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ
明治四十年九月二日

富山區裁判所

判事　高野寬治

福岡縣宗像郡岬村大字鐘崎五百七十一番地平民無職　永島又三郎
不在者
右ニ對シ利害關係人母亦ハ入ヲ爲シタルニ付キ不在者ハ明治四十一年三月十六日迄ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ
明治四十年九月三日

福岡（福岡地方裁判所管內）區裁判所

判事　高橋喜又

秋田縣南秋田郡船川港町船川百四十三番地　杉田　健治
不在者
右ニ對シ利害關係人杉田寬治ヨリ失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付不在者ハ明治三年三月三十日生ニ當區裁判所ニ生存ノ屆出ヲ爲スヘク若シ其屆出ヲ爲サヽルトキハ失踪ヲ宣告スヘシ又不在者ノ生死ヲ知ル者ハ右期日迄ニ其屆出ヲ爲スヘシ
明治四十年九月四日

秋田區裁判所

判事　高松源次郎

京都市上京區九太町通室町東入當眞町十一番戸
當時同市下京區醒ヶ井五條上ル町平民　松井　龜智
同市同町同番地　松井　龜盛
不在者
右松井龜智ヨリ不在者松井龜盛失踪宣告ノ申立ヲ爲シタルニ付明治四十年一月三十一日公示催告ヲ爲シタル其期日卽チ明治四十年八月二十六日午前十一時迄ニ生存ノ屆出ナキヲ以テ右不在者松井龜盛ノ失踪ヲ宣告ス
明治四十年八月二十六日

京都區裁判所

判事　田中吉雄

岐阜縣益田郡竹原村大字巍政四百九十七番戸平民　古田金太郎
不在者
右ノ者ニ對シ實父古田銀五郎ノ申立ニ因リ當區裁判所ハ明治四十年八月三十一日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十年八月三十一日

高山區裁判所

判事　斐浦清

石川縣鳳至郡仁岸村字馬渡十二ノ二十五番地平民無職　宮下　のわ
不在者
右ノ者ニ對シ利害關係人板來金藏ノ申立ニ依リ當區裁判所ハ明治四十年八月三十一日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ
明治四十年八月三十一日

輪島區裁判所

判事　大井清

第72690号

廣島縣賀茂郡竹原町千二百六十九番屋敷戸主友七長男平民農
不在者　中村和太郎
萬延元年五月十三日生

右ノ者ニ對シ實父友七ノ申立ニ依リ當區裁判所ハ本日失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十年九月三日　竹原區裁判所
判事　望月市太郎

宮城縣本吉郡氣仙沼町字釜ノ前二百四十二番地平民魚商
不在者　村上國助
明治六年八月二十三日生

當裁判所ハ明治四十年八月二十七日宮城縣本吉郡氣仙沼町字釜ノ前二百四十二番地平民村上義次ノ申立ニ依リ前記ノ者ニ對シ失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十年九月三日　氣仙沼區裁判所
判事　前田勝三郎

宮城縣本吉郡歌津村三百二十二番地平民漁業
不在者　三浦卯之松
安政二年七月十六日生

當裁判所ハ明治四十年八月二十七日宮城縣本吉郡歌津村三百二十二番地三浦竹治ノ申立ニ因リ前記ノ者ニ對シ失踪ノ宣告ヲ爲シタリ

明治四十年九月三日　氣仙沼區裁判所
判事　前田勝三郎

○公債證書發見

一無記名軍事公債證書百圓券　為號　壹〇壹四壹番　一枚
右明治三十七年十二月渡以降利札附屬紛失ノ旨官報第六三二三號ニ廣告ノ處三十九年六月渡以降利札附屬公商人ヨリ買受所有ノ旨屆出

一無記名軍事公債證書百圓券　為號　參參五五七番　一枚
右明治三十七年十二月渡以降利札附屬紛失ノ旨官報第六四三九號ニ廣告ノ處三十八年六月渡以降利札附屬公商人ヨリ買受所有ノ旨屆出

一無記名軍事公債證書百圓券　慶號　參八貳六九番　參壹七貳〇番　五拾圓券　慶號　九〇五六貳番　三枚
右明治三十四年六月渡以降利札附屬紛失ノ旨官報第五四一七號ニ廣告ノ處判決ニ依リ三十九年六月渡以降利札附屬ニテ所有權確定ノ旨屆出

一無記名軍事公債證書五拾圓券　慶號　貳五五貳壹番　一枚
右明治三十九年六月渡以降利札附屬紛失ノ旨官報第六八三一號ニ廣告ノ處公商人ヨリ買受所有ノ旨屆出

明治四十年九月九日　日本銀行

○東京郵便局外國郵便締切豫告

本月十一、十八、二十五日頃布哇經由、同十八日頃シアトル經由、同十七、二十三日頃タコマ經由（同二十日頃ポートランド經由同二十一日頃加拿陀經由孰モ歐米諸國等ヘノ郵便物締切ノ筈ナリ

上海香港豆ニ印度地方ヘハ毎週數回ノ差立アルニ依リ臨時差出ス方早達ヲ得ヘシ

○日本郵船株式會社汽船横濱出發表

東郷丸　今九日未明横濱出帆欵ノ濱（函館小樽行（出帆日延）
小樽丸　同日午後四時横濱出帆函館行（出帆日延）
立神丸　同日午後四時横濱出帆神戸行（出帆日延）
兵庫丸　同十日午後二時横濱出帆八丈島、父島、母島（沖縄）行（出帆日延）
和歌浦丸　明後十一日未明横濱出帆欵ノ濱（函館（小樽行
山口丸　同日午前十時横濱出帆本月十四日午前十時神戸出帆上海行（門司、長崎經由）（出帆改正）

汐首丸　同日正午十二時横濱出帆四日市、神戸行（船客ヲ搭載セス）
高砂丸　同日正午十二時横濱出帆四日市、神戸、門司、仁川、大連、大沽、牛莊行
錦江丸　同日午後四時横濱出帆神戸、門司、基隆、安平、打狗行（船客ヲ搭載セス）
博愛丸　本月十四日午前十時横濱出帆同十六日午前十時神戸出帆上海行（門司、長崎經由）
熊本丸　同十六日午後四時横濱出帆神戸、尾道、境、敦賀、伏木、新潟、酒田、土崎、函館、小樽行
讃岐丸（歐洲行）同十八日正午十二時横濱出帆同二十一日午前十一時神戸出帆門司、上海、香港、新嘉坡、彼南、コロンボ、蘇士、ポートサイド、馬耳塞、倫敦、アントワープ行
八幡丸（濠洲行）同二十一日正午十二時横濱出帆同二十四日午前十時神戸出帆門司、長崎、香港、マニラ、木曜島、タウンスビル、ブリスベーン、シドニー、メルボルン行

○同上神戸等出發表

高砂丸　明十日午前十時函館出帆翌十一日午後小樽出帆九春古丹（コルサコフ）、マウカ行
山東丸　明後十一日午前十時神戸出帆門司、長崎、釜山、仁川、芝罘、大沽、牛莊行
營口丸　本月十二日午前十時神戸出帆門司、芝罘、大沽、牛莊行
旅順丸　同十三日午前十時神戸出帆門司、上海、香港行（米國復航）
孟買丸（歐洲行）同十四日午前神戸出帆門司、マニラ、新嘉坡、コロンボ、ポートサイド、アントワープ行（船客ヲ搭載セス）
神戸丸　同十五日午前十時神戸出帆門司、長崎、釜山、元山、城津、浦潮斯德行
丹後丸（米國行）同十六日正午十二時神戸出帆同二十日午後二時横濱出帆ビクトリア、シアトル行（歐米各地行通船客切符及通船荷證券ヲ發行ス）
新潟丸　同十七日午前十時神戸出帆門司、上海、漢口行（船客ヲ搭載セス）
芝罘丸　同十九日午前十時神戸出帆門司、長崎、芝罘、大沽、牛莊行
臺灣航路　神戸發正午　門司著發　基隆著
毎月（三日、十八日）四日、十九日　七日、二十二日
西京丸　木船ハ神戸ニテ鐵道經橋聚留ニ付キ同所ニテ切符賣入乘船ノ便アリ
（書類發　函館發　室蘭著
毎日（午前三時　（直航）　午後三時
午前十時半　翌午前四時　正午十二時）
○大阪商船株式會社汽船神戸等出發表

韓國行
千賀丸　明後十一日午前十時大阪出帆同日午後三時神戸出帆門司、下關、釜山、馬山、木浦、群山、仁川行
安東丸　本月十四日午前十時大阪出帆同日午後三時神戸出帆門司、下關、釜山、元山行

清國行
開城丸　明十日正午十二時大阪出帆翌十一日午前十時神戸出帆門司、大連行
大信丸　同日午前九時大阪出帆翌十一日午前十時神戸出帆門司、芝罘、天津行（天津ハ居留地河岸ニ横附）
大義丸　本月十四日正午十二時大阪出帆翌十五日午前十時神戸出帆門司、大連行
大智丸　同十九日午前九時大阪出帆翌二十日午前十時神戸出帆門司、芝罘、天津行（天津ハ居留地河岸ニ横附）

臺灣行
臺東丸　今九日午後三時横濱出帆本月十二日正午十二時神戸出帆門司、基隆、安平、打狗行
恨春丸　本月十六日午後三時横濱出帆同十九日正午十二時神戸出帆宇品門司、長崎、基隆、澎湖島、安平、打狗行
臺南丸　毎月八日、二十三日正午十二時神戸出帆門司、基隆行
臺中丸　毎月十五日、三十日正午十二時神戸出帆門司、基隆行

浦潮斯德行
鳳山丸　明十日午後七時敦賀出帆本月十二日浦潮斯德著
韓國清國臺灣浦潮斯德行船客ニシテ大阪神戸又ハ敦賀ヨリ乘船ノ方ニハ大阪神戸兩支店及東京横濱敦賀代理店大和田同清部宜ニ東京、大阪兩市内出札所ニテ乘船切符發賣ス

○附錄　今九日發刊錄令八頁

特 72690 号

官報第七千二百六十號附錄

明治四十年九月九日

○辭令

輜重輜卒　奥村龍二
同　井上繼太郎
同　藤岡澤藏
同　西田五郎
同　岡本源
同　藤谷廣吉
同　佐平
同　太郎
同　一鶴
同　二吉
同　長谷川梅太郎
同　西村定市
同　長野金五郎
同　小野常八郎
同　畑榮七
同　松本石介
同　敷島勘
同　山口寅之助
同　岡本武市
同　森彌平
同　酒居新吉
同　毛利清太郎
同　木下吉
同　尾田辰吉
同　岸本佐吉
同　奥橋佐太郎
同　田中彌太郎
同　鹿嶽元彌
同　高田寅治
同　竹內初藏
同　松原春治
同　山本金治
同　田中彌五郎
同　近藤梅造
同　佐野辰
同　岡田亀次郎
同　中原田吉
同　柳生宇之助
同　栗山孫治
同　寶田熊太郎
同　高田敏雄
同　原梅次
同　長山桑吉
同　正藤兵吉
同　長谷中次郎
同　山本千代松
同　出口政吉
同　梅本豐治郎
同　黑田
同　釣部
同　磯部巳
同　長谷川影
同　大鹽山
同　阿部水
同　王萬吉
同　松下外市
同　山崎作
同　藤岡義次
同　西本萬治
同　藤田常吉
同　岩上松次
同　鶴廣吉
同　桑市七
同　佐平
同　太郎
同　小野畑長
同　敬太郎
同　德太郎
同　趙音三郎
同　新谷小
同　鹽田羅
同　鹽田晴信
同　齊藤
同　土師中
同　大鹽上
同　武守谷
同　岡本平
同　新山
同　宮崎中
同　藤原
同　山崎
同　小野新
同　藤山
同　椙下
同　松
同　水王
同　阿部
同　長已
同　磯部
同　釣
同　黑田
同　桑藏
同　周藏
同　安次
同　萬藏
同　清作
同　外市
同　義次
同　萬吉
同　松次
同　常吉
同　町田
同　後藤
同　畑
同　西
同　中
同　木多
同　西垣
同　松
同　常治郎
同　市之助
同　重
同　太郎
同　藤太郎
同　芳林
同　孫太郎
同　西谷
同　藤井
同　深田
同　橫井
同　前田
同　小林
同　產賀
同　井口
同　永井
同　冨山
同　三杉
同　岩川
同　仁一郎
同　植
同　西川
同　池田
同　山本
同　岩上
同　井
同　泊
同　常田
同　油納
同　山口
同　小
同　增田
同　中村
同　田中
同　山本
同　岡崎
同　根岸
同　宮內
同　蘇
同　藤下
同　井上
同　森
同　山形
同　佐々木
同　山本
同　藤谷
同　岩田
同　池內
同　佐々木
同　谷口
同　岩田
同　神谷
同　非上
同　田栗
同　奥村
同　大西
同　長谷川
同　伊作
同　小作
同　藤太郎
同　佐々木松太郎
同　澤藏
同　重五郎
同　鐵太郎
同　彥
同　虎藏
同　四
同　鐵藏
同　亀吉
同　吟
同　四郎
同　仲
同　喜代松
同　力丸
同　岸本
同　勝三郎
同　藤後
同　佐太郎
同　蘇下
同　彥次郎
同　森
同　永井
同　三松
同　宮內
同　多治郎
同　蘇
同　円藏
同　梅之助
同　岡田
同　松
同　大谷
同　谷口
同　山中
同　卯
同　米吉
同　武部
同　山口
同　小
同　太郎
同　常吉
同　油納
同　田中
同　中村
同　貞太郎
同　田
同　亀吉
同　山本
同　岡崎
同　政
同　右衛門
同　芳
同　七
同　根岸
同　澤藏
同　竹內
同　尾
同　寅吉
同　治
同　太郎
同　彌
同　五郎
同　金治
同　春治
同　初藏
同　竹治
同　寅吉
同　彌
同　太郎
同　高田
同　鹿嶽
同　橋元
同　奥田
同　岸本
同　尾田
同　下
同　毛利
同　酒居
同　森
同　岡本
同　山口
同　野上
同　長谷川
同　西村
同　松本
同　敷島
同　勘
同　長野
同　畑
同　小野
同　岡本
同　藤谷
同　西本
同　蘇
同　岡田
同　源
同　佐平
同　太郎
同　一鶴
同　二吉
同　廣吉
同　非上
同　繼
同　澤藏
同　田栗
同　谷口
同　岩田
同　神谷
同　奥村
同　龍二

同　黑田
同　釣部
同　磯部
同　長已
同　阿部
同　水王
同　松下
同　山崎
同　藤岡
同　義次
同　萬吉
同　清作
同　外市
同　松
同　常吉
同　町田
同　後藤
同　畑
同　西
同　中
同　木多
同　西垣
同　松
同　常治郎
同　市之助
同　重
同　太郎
同　藤太郎
同　芳林
同　孫太郎
同　西谷
同　藤井
同　深田
同　橫井
同　前田
同　小林
同　產賀
同　井口
同　永井
同　冨山
同　三杉
同　岩川
同　仁一郎
同　植
同　西川
同　池田
同　山本
同　岩上
同　井
同　泊
同　常田
同　油納
同　山口
同　小
同　增田
同　中村
同　田中
同　山本
同　岡崎
同　根岸
同　宮內
同　蘇
同　藤下
同　井上
同　森
同　山形
同　佐々木
同　山本
同　藤谷
同　岩田
同　池內
同　佐々木
同　谷口
同　岩田
同　神谷
同　非上
同　繼
同　澤藏
同　田栗
同　谷口
同　大西
同　長谷川
同　伊作
同　小作
同　藤太郎

輜重輜卒勤八等
同　輜重輜卒
同　輜重兵一等卒
同　輜重輜卒
同　輜重兵上等卒
同　輜重輜卒
同　輜重兵上等兵
同　輜重輜卒
同　輜重兵二等卒
同　輜重輜卒
同　輜重兵二等卒
同　輜重輜卒
同　輜重兵二等卒

同 同 同

同　同　同　

同 同 同

同　同　同　